

# 連合

RENGO



弁理士連合クラブ会報

No. **31**  
2021

# 目 次

## 巻 頭 言

|             |       |   |
|-------------|-------|---|
| 弁理士連合クラブ幹事長 | 吉村 俊一 | 2 |
|-------------|-------|---|

## ご 挨拶

|              |       |    |
|--------------|-------|----|
| 日本弁理士会会長     | 清水 善廣 | 4  |
| 日本弁理士クラブ幹事長  | 羽鳥 亘  | 6  |
| 西日本弁理士クラブ幹事長 | 上羽 秀敏 | 8  |
| 弁理士同友会幹事長    | 笹野 拓馬 | 9  |
| 弁理士クラブ幹事長    | 奥川 勝利 | 11 |

## 会 務 報 告

|                   |        |    |
|-------------------|--------|----|
| 日本弁理士会副会長         | 濱田百合子  | 12 |
| 日本弁理士会副会長         | 茜ヶ久保公二 | 15 |
| 弁理士連合クラブ副幹事長      | 梶 俊和   | 17 |
| 弁理士連合クラブ副幹事長      | 笹川 拓   | 19 |
| 弁理士連合クラブ副幹事長      | 潮 太朗   | 21 |
| 令和2年度弁理士連合クラブのあゆみ |        | 22 |
| 総務委員会             |        | 24 |
| 政策委員会             |        | 25 |
| 企画委員会             |        | 26 |
| 役員協議委員会           |        | 27 |

## 資 料

|                    |    |
|--------------------|----|
| 令和2年度弁理士連合クラブ役員    | 31 |
| 弁理士連合クラブ歴代役員       | 33 |
| 弁理士連合クラブ会則         | 56 |
| 弁理士連合クラブ慶弔規則       | 59 |
| 「特別寄付金」を求めるときの運用基準 | 60 |

|      |    |
|------|----|
| 編集後記 | 61 |
|------|----|

表紙「題字」山川 政樹 「写真」－日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会－

## 新型コロナウイルス感染症に影響された1年

弁理士連合クラブ幹事長  
吉村 俊一



機関誌「連合」No.31の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に大きく影響された1年でした。2月初めからの感染拡大が1年を通して継続し、三密の回避、会合の自粛等、多くの活動が制限されました。例年2月末に行われている当クラブの定時総会も延期し、年度初めの会派活動が軒並み中止になりました。

令和2年度の弁理士連合クラブは、こうしたコロナ禍においても前年度と同様、「弁理士連合クラブの活動の充実」、「日本弁理士会への強力な支援」、「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」をテーマに掲げて活動しました。

「弁理士連合クラブの活動の充実」については、例年行ってきた親睦旅行会と、旅行会での研修企画は中止を余儀なくされました。

一方、日本弁理士会の役員定時選挙は例年どおり行われ、当クラブでも弁理士クラブから推薦された副会長候補者、常議員候補者及び監事候補者の推薦と、弁理士同友会から推薦された副会長候補者及び常議員候補者の推薦を機関決定し、副会長選挙だけが投票選挙となりましたが、全員の当選を果たすことができました。また、本年度は会長選挙の年でしたが、当クラブからは擁立を見送り、日本弁理士クラブ推薦の杉村候補者の政策説明会を設定し、臨時総会で共同推薦することを機関決定しました。弁理士クラブの奥川幹事長と弁理士同友会の笹野幹事長とは、選挙対応において頻繁に情報共有し、緊密な

連携を図ることができ、弁理士連合クラブの活動基盤をさらに安定させることができたと思います。なお、当選祝賀会は、コロナ禍ではありましたがリモート会議システムを併用して弁理士会館で開催することができました。選挙活動にご協力頂いた全ての皆さまに厚く御礼申し上げます。

財務については、コロナ禍で多くの事業が中止又は縮小しましたので、分担金はそれに応じて大幅に減額しました。

「日本弁理士会への強力な支援」については、日本弁理士会委員会等の次年度人事検討委員会における会員の推薦等を中心とする人事面での支援と、政策提言とを例年どおり行いました。また、本会の総会議案等を含む様々な検討が本会執行役員会から要請されましたので、単位クラブの政策委員会に諮った後に、連合政策委員会で意見を集約し、本会に提出いたしました。

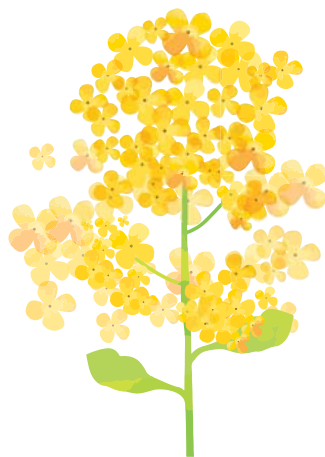
「三派体制の確立」については、日本弁理士クラブ及び西日本弁理士クラブの旅行会と新旧役員慰労会激励会はコロナ禍により中止されましたが、選挙対応や総会議案等についてリモート会議で頻繁に意見交換や情報交換を行いました。他会派の先生方と直接お会いしての交流はできませんでしたが、可能な範囲での三派交流を図ることができました。

本年度は、コロナ禍で難しい活動を余儀なくされた年でしたが、弁理士クラブ及び弁理士同友会の皆様には、この一年間ご支援を賜ったことに厚くお礼を申し上げます。また、当クラブの活動は、両単位

クラブの協力なくしては成り立たず、今後とも、両単位クラブの共同作業を通じて結束を深めていくことを切に願ってやみません。

最後になりましたが、令和2年度の弁理士連合クラブ副幹事長として、総務委員会と政策委員会をご担当いただいた梶俊和先生、企画委員会と研修委員会をご担当頂いた笹川拓先生、役員協議委員会と調整委員会をご担当頂いた潮太郎先生をはじめとして当クラブの各委員会委員の先生方には、当クラブの運営に多大なるご協力を賜りました。先生方のご尽力がなければ当クラブの活動を進めることは困難でありました。ここに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

令和3年度はコロナ禍が早期に沈静化することを期待し、井澤幹事長の下でより活発な活動が行われることを期待して、私のごあいさつとさせていただきます。





## 新型コロナ後の 「ニュー・ノーマル」を踏まえて



日本弁理士会会長  
清水 善廣

### 1. はじめに

弁理士連合クラブの皆様方には日頃より日本弁理士会執行部に対するご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

「新時代の知財立国を切り拓こう」をスローガンに弁理士絆プロジェクトを中心に据え弁理士の活躍による令和の時代における知財立国の実現を目指し会務を進めています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、今までにない不自由な中での会務運営となっていますが、弁理士連合クラブの皆様のご理解、ご協力により何とか感染防止を図りつつ会務を進めることができます。引き続きご協力を宜しくお願いいたします。

### 2. 新型コロナウイルスとの遭遇

#### 1) 令和元年度

新年を迎え、さあ仕上げる年だと意気込んでいたさ中、中国武漢での新型コロナ感染が発表され、欧州、米国、南米への新型コロナウイルス感染がたちまち世界中に広がりWHOによるパンデミック宣言となりました。

2月14日に災害対策本部を立ち上げて新型コロナ感染対応を即時にスタートし、年度内の研修、セミナーをすべて中止乃至延期し会員の皆様の健康と安全を最優先に考えました。

3月6日には、特許庁の新型コロナウイルス感染に起因する手続業務制約への対応について情報発信し、3月31日には新型コロナウイルス感染症流行

に伴う各国の知財庁における対応措置、及び郵便状況に関する情報を集め会員の皆様に速やかに情報発信しました。

#### 2) 令和2年度

4月7日の緊急事態宣言を受け、4月8日の執行役員会で必要最低限の会務以外の自粛を決定しました。研修等の開催を止め、委員会等の立ち上げも必要不可欠のものに限り、原則開催しないことにしました。5月8日までの間は事務職員の出勤を半分にし、窓口業務も閉鎖しました。5月28日までは弁理士会館会議室の貸し出しを中止し、改装したばかりのラウンジ及びブースも利用を中止しました。

新型コロナ感染症に関し、特許庁との協議、情報収集・発信、郵便局情報、外国知財庁情報、各種補助金・助成金等の情報収集・発信などを災害対策本部、特許制度運用協議委員会、国際活動センター、会長室等との連携のもと適時情報発信しています。

更に、10月より中小企業支援策としてコロナ不況に苦しむ中小企業に対する出願支援事業を展開しています。

### 3. Web等の活用

Web会議に関する例規改正によって、執行理事の役員会へのWeb参加、常議員会のWeb開催、定期総会のWeb併用開催ができました。各地域会総会もWeb開催で行っていただけました。弁理士絆プロジェクトや、研修、国際活動、各種支援活動等もリアルな接触を極力避けWebや動画等を活用さ

せていただいています。

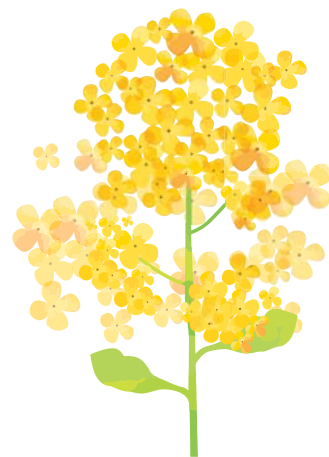
このように、新型コロナ感染対策のため、テレワークやWeb会議を皮切りにデジタル化も進み、会務の運営もデジタルトランスフォーメーション（DX）が加速するものと思います。今年度の経験を次年度にしっかり伝え、繋げてゆきたいです。

#### 4. 弁理士法改正

令和元年度第2回臨時総会決議に沿って、1）農林水産関連の知的財産に関する業務を弁理士業務とすること、2）社員一人による特許業務法人の設立を認める「一人法人制度」を導入すること、3）法人名称を「特許業務法人」から「弁理士法人」とすること、これら3項目の法改正の実現を目指します。皆様方のご理解、ご支援を宜しくお願いいたします。

#### 5. 最後に

弁理士連合クラブの皆様方とともに、ニュー・ノーマルを踏まえ執行部一丸となって全力で会務を遂行してまいります。引き続き、吉村俊一幹事長を始め弁理士連合クラブの皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



## コロナ禍における会派のあり方

日本弁理士クラブ幹事長  
羽鳥 亘



### 1. はじめに

本年度（令和2年度）日本弁理士クラブ幹事長を務めております、羽鳥亘でございます。

弁理士連合クラブの皆様には、政策・人事・選挙、その他様々な会務活動において協力体制を構築して頂いており、厚く御礼申し上げます。

特に、本年度は、日本弁理士会会長選挙に際して、日本弁理士クラブ所属杉村純子先生を弁理士連合クラブとして共同推薦して頂き、お陰様で無事当選させて頂きました。

改めて、弁理士連合クラブの皆様には感謝するとともに、弁理士連合クラブ推薦の次年度永岡重幸副会長・笹野拓馬副会長と、西日本弁理士クラブ推薦吉竹英俊副会長、日弁推薦の5人の副会長が次年度杉村純子会長と一丸となって、時代の変化をチャンスにして知財業界を元気にしていただけるものと確信しております。

### 2. 日本弁理士クラブ及び連合弁理士クラブとの連携について

- (1) 日本弁理士クラブは、P A会、春秋会、南甲弁理士クラブ、稲門弁理士クラブ、無名会、の5つの会派の連合体であり、各会派に参加すると自動的に日本弁理士クラブの会員になります。
- (2) 毎年、年明けに立ち上がる日本弁理士会の次年度人事検討委員会の委員長には慣例的に次年度日本弁理士会会長が所属する会派の長が就任する事になっており、令和2年度の次年度人事

検討委員会委員長を私が担当させて頂きました。

日本弁理士会には、地域会、付属機関、委員会、WG等、様々な組織が存在し、各々の目的に則った活動を行っています。

それらの組織は、多くの会員のボランティアによって運営されておりますが、この組織に多数の優れた人材を途切れることとなる推薦し続けることで、日本弁理士会の会務運営が円滑に行える事は重要です。

弁理士連合クラブ、西日本弁理士クラブ、東海協議会と、日本弁理士クラブ所属各会派の協力により、ややもすれば特許等の専門委員会のような人気委員会に偏りやすい人事を、どちらかといえばあまり人気のない委員会についても優秀な会員を選任して頂く事ができました。

### 3. コロナ禍における会派のあり方

- (1) 本年度は、4月7日に出された新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言を受けて、日本弁理士会の各種事業が大幅に変更になり、これを受けて、日弁旅行会中止（弁理士連合クラブ旅行会・西日本弁理士クラブ旅行会も同様理由で中止）、Web会議形式での定時総会開催、Web会議形式での幹事会・相談役会・各委員会の開催と例年と大きく相違する形式での本年度の活動となりました。
- (2) このコロナ禍だからこそ、将来の弁理士会を担う若手会員の活発な意見も取り入れて、短

期、中期、長期的な弁理士制度を考えていく事が会派活動において重要と考えています。

このために、本年度、日弁幹事長である私と、次年度日本弁理士会会長立候補予定者である杉村純子日弁会員の2名で、5会派をWeb会議形式で別々の日に訪問させて頂きました。

稲門弁理士クラブ・無名会（7月27日・23名参加）、南甲弁理士クラブ（7月29日・15名参加）、P A会（7月30日・16名参加）、春秋会（8月7日・15名参加）に各々訪問させて頂きました。

この訪問では、参加して頂いた、各会派若手会員全員から、ご意見・ご提案等を必ず発言して頂く形式をとらせて頂き、多くの貴重なご意見を頂きました。

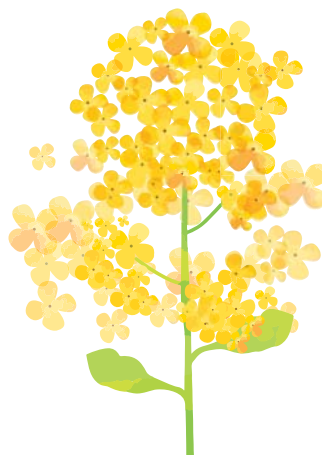
このご意見等は、今後の魅力ある弁理士制度構築のための施策提言に生かしていきたいと考えております。

#### 4. おわりに

本年度は、令和3年度の会長、副会長、常議員、監事に関する選挙が行われ、会長選挙に関して、弁理士連合クラブの吉村俊一幹事長と西日本弁理士クラブの上羽秀敏幹事長とは相互に連絡を密に取り合い意思疎通を図らせて頂きました。

特に、関東会会長でもある吉村俊一幹事長とは、支援センター長を兼ねる私と、相互に密に連絡を取らせて頂き、会派運営も会務運営も円滑に行うことが出来本当に感謝しております。

以上





## コロナ禍で深まった会派の絆

西日本弁理士クラブ幹事長  
上羽 秀敏



令和2年度西日本弁理士クラブの幹事長を務めております上羽秀敏でございます。この度は貴クラブの機関誌に挨拶を掲載いただき貴重な機会を賜り、誠に光栄でございます。

本年度が例年と全く異なったのは、新型コロナウイルスが全世界にパンデミックを引き起こしたことでしょう。2月中旬に日本でも感染者が報告され始め、危機感が徐々に高まりました。弊クラブでも毎年3月上旬に開催していた役員慰労激励会を急遽中止しました。その後、4月7日に緊急事態宣言が出され、我が国の経済活動に急ブレーキがかけられました。緊急事態宣言は5月中旬に解除されたものの、密集・密接・密閉の「三密」は避けなければなりません。このため、三派の旅行业も全て中止され、会派間の交流の場は完全に消失してしまいました。

しかしながら、本年度は会長選挙の年であったため、会派間の意見交換は必須のものでした。「三密」を避け、貴クラブの吉村幹事長と日本弁理士クラブの羽鳥幹事長と私は、ZoomによるWeb会議で意見交換を行いました。Web会議はコロナ対策で始めたものですが、予想以上に便利で、遠距離であっても何時でも頻繁に意見交換を行うことができました。対面の機会は激減してしまいましたが、以前よりも増して密に意見交換を行うことができたのではないのでしょうか。

ご承知のとおり、三派ないし八派の強固な連携により、杉村純子先生を次年度会長候補として共同で推薦し、無投票で当選を勝ち取ることができまし

た。副会長については無会派の会員が立候補したため、選挙に突入しましたが、結果は会派推薦の候補者全員が当選を果たしました。これは会派の連携力の賜です。その一方で、無会派の候補者の得票数が少なくなかった点にも着目すべきと思います。日本弁理士会は会員の自治で運営されており、有能な会員を役員として送り込むことは、日本弁理士会及びその会員全てに利益をもたらす重要な意義があります。有能な会員に会務を担っていただくため、会派が重要な役割を果たしていることを広く会員に理解してもらう必要性を改めて痛感いたしました。

コロナが災いであることは当然として、日本弁理士会、各会派、各事務所の運営方法を変えたことも事実でした。Web会議が常態化し、ニューノーマルとなりました。今までは地理的な理由から主に関東圏内の会員に会務の労を取っていただいておりますが、日本全国の会員が会務に参加することが容易になりました。杉村純子次年度会長が掲げる各地域の活性化ないし連携強化を実現するために、弊クラブはこれを積極的にバックアップしたいと考えております。このミッションは来年度弊クラブの幹事長を務める川上桂子に引き継ぎましたので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

Web会議が常態化する一方で、対面による交流の重要性も痛感いたしました。コロナ禍が一日も早く終息し、ニューノーマルの下で皆様との「濃厚接触」が再開することを心より願っております。

## コロナ禍の一年を振り返って



弁理士同友会幹事長  
笹野 拓馬

令和2年度弁理士同友会幹事長を務めさせていただきました笹野拓馬と申します。機関誌「連合」の発行にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

今年は、年初には思いもよらなかった新型コロナウイルス感染症の拡大によって、仕事の形態がテレワークやリモートワークを活用した在宅勤務に移行し、会議や打ち合わせなども、対面ではなく、Zoomなどウェブ会議になり、仕事の環境が一気に転換した上、人同士が直接会う機会がほとんどなくなるといった、これまで経験したことの無い事態となりました。

こんな難しい状況の中で、他会派との折衝や会務運営等を舵取りされた吉村俊一幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの先生方におかれましては、大変難しい判断を迫られた一年であったのではないかと存じます。弁理士同友会幹事長として心より感謝申し上げます。

コロナ禍の一年を振り返ってみますと、日本弁理士会の役員定時選挙が強く印象に残っております。本年度の役員定時選挙は、監事・常議員が無投票での当選となったものの、副会長につきまして投票選挙に突入しました。

投票選挙は、会派に所属していない方が立候補したことにより生じたわけですが、落選できない状況の中で、日本弁理士クラブや西日本弁理士クラブとの折衝や選挙情勢の収集、弁理士クラブとの意見交換の場合を複数回設けていただくなど、様々な調整を行っていただきました。また、当会から推薦した常議員候補者の変更をお願いした際には、候補者を

ご承認いただいた臨時総会の一週間後に、もう一度、臨時総会を開催していただきました。

吉村俊一幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの先生方には、時間がない中で、献身的にご対応いただき、本当にありがとうございました。

また、奥川勝利幹事長をはじめとする弁理士クラブの先生方におかれましては、意見交換の場における当会からの協力をお願いに対し、快く応じて下さり、誠にありがとうございました。

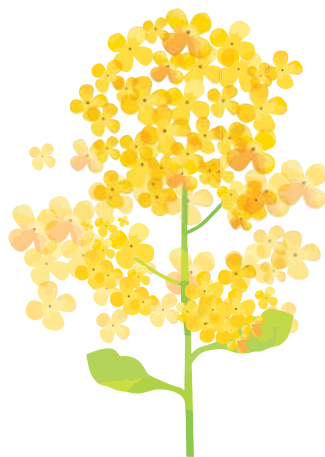
お陰をもちまして、弁理士同友会所属の候補者全てが当選を果たすことができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この選挙運動を通じて実感したことは、弁理士連合クラブや、それを形成する単位会派である弁理士クラブや当会が存在する意味とその大切さです。会派離れが呼ばれて久しいですが、会派に所属する皆様の協力がなければ、選挙を戦うことはできませんし、ひいては、日本弁理士会の会務運営も円滑に行うことができません。今後も役員定時選挙は、選挙ありきの状態が続くように思われますが、本年度の副会長投票選挙は、会派の存在意義を再確認するよい機会になったように思います。

次年度の弁理士連合クラブ幹事長につきましては、井澤幹会員を当会で機関決定し、弁理士連合クラブでご承認いただきました。ありがとうございました。弁理士同友会は、弁理士クラブとともに弁理士連合クラブとして、日本弁理士会を支えていく所存ですので、何卒、宜しくお願い致します。

最後に、吉村俊一幹事長をはじめとする弁理士連

合クラブの先生方、並びに奥川勝利幹事長をはじめとする弁理士クラブの先生方から弁理士同友会に賜りました多大なご支援、ご協力に対し、改めて深く感謝を申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。



### 例年とは違った一年を終えて

弁理士クラブ幹事長  
奥川 勝利



令和2年度弁理士クラブ幹事長を務めました奥川勝利です。機関誌「連合」の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

吉村俊一幹事長をはじめとした弁理士連合クラブの執行部の先生方には、大変お世話になりました。

特に、本年度の日本弁理士会定時総会において審議承認された東京倶楽部ビル14階増床の案件については、当弁理士クラブから強い反対意見を出させて頂きましたところ、これを弁理士連合クラブでもご検討いただき、弁理士連合クラブとして日本弁理士会執行部へ意見を出していただき、同案件に反対することにご尽力いただきました。

また、本年度は、日本弁理士会の会長選挙の年でありましたので、日本弁理士クラブ推薦の会長候補を共同推薦する件につき、弁理士連合クラブ主催で同会長候補の政策説明会を開催していただきました。本件につきまして、当弁理士クラブからは、同政策説明会に際して同政策に対する事前質問を要望し、同政策説明会後には、日本弁理士会会務運営にあたって共同推薦する全会派の意見が適切に反映される具体的な仕組みの検討を要請しましたところ、弁理士連合クラブでご尽力いただいた結果、これらの要望、要請をご提出いただきました。

更に、日本弁理士会の役員選挙後も、当弁理士クラブからは、日本弁理士会の次年度会務検討委員会に対し、特に実現してもらいたい政策の要望書を出させて頂き、こちらも、弁理士連合クラブとしてご検討いただき、ご提出いただきました。

このように、日本弁理士会への様々な貢献を実現

できたのも、吉村俊一幹事長をはじめとした弁理士連合クラブの執行部の先生方の多大なるご尽力があったからこそであり、心より感謝申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ほぼ丸一年の間、多くの活動が制限されました。特に、例年であれば9月頃に開催される弁理士連合クラブの旅行会も中止となりましたし、他会派の旅行会等も中止となりましたので、多くの弁理士の皆様と実際に顔を合わせて交流する機会がほとんどなく、人のつながりが弱くなる年だったと思います。一方で、この状況下のおかげでリモート会議などが広く普及し、直接顔を合わせない新たなコミュニケーション方法が確立し、より気軽にコミュニケーションを図ったり、これまで直接顔を合わせる事が難しかった人との新たなつながりを発見したりすることができた年でもあったように思います。今後の会派活動にあたっては、このような新たなコミュニケーション方法も活用し、柔軟にコミュニケーションを図って、人のつながりを広く強くしていくことが重要だと感じます。

弁理士を取り巻く厳しい環境の中、日本弁理士会が果たすべき役割の重要性が増しており、日本弁理士会を支える会派の重要性も日に日に増しているところだと実感しておりますが、会派の重要性を認識している弁理士の数はどんどん少なくなっていることが危惧されます。弁理士連合クラブには、今後も、日本弁理士会への更なる貢献を果たし、会派の重要性をより多くの弁理士に認識してもらえような会派活動をしていただくことを期待しております。



## ウィズコロナ／ ポストコロナ時代に向けて



日本弁理士会副会長  
濱田 百合子

### 1. はじめに

弁理士連合クラブの推薦を受けて、令和2年度日本弁理士会副会長を務めさせていただいております濱田百合子です。

本年度は、開始早々新型コロナ禍の感染拡大に伴う緊急事態宣言がなされ、この原稿を書いている12月上旬の時点で、第3波ともいわれる感染拡大が続いており、先が見えない状況です。弁理士会においても、新型コロナの感染防止と会務運営との両立を図りながら試行錯誤の状況が続いています。早急にウェブ会議やウェブ研修のインフラを整え、必要な法改正・運用改訂を行いながら、会務を遂行しています。ウェブを活用した会議・研修は、ウィズコロナ／ポストコロナ時代において引き続き継続していくものと考えます。

### 2. 基本問題小委員会（産構審）の設置

特許庁では、今回のコロナ禍を受けて、10月9日に、産業構造審議会の知的財産分科会の下に「基本問題小委員会」を設置し、コロナ禍で顕在化した課題やイノベーション促進に向けた産業財産権制度の在り方、さらには特許庁における料金体系の在り方について審議を行っています。12月上旬の時点で、第3回委員会まで終了し、現在電子申請できない手続（約500種類）の「全ての手続のデジタル化」や、現在押印が必要とされている手続のうち「厳格な本人確認が不要な手続（約760種類。全体の約95%）の押印廃止」が決定され、また、特許印紙の廃止も検討されています。12月中に報告書

案が提示される予定です。コロナ禍により、不要なものから徹底的に排除され、必要なもののみが正確な優先順位の下、取捨選択されていき、将来的に起こるべきことが加速して起こっていくという見方からすれば、今まで受け入れられ難かった事項が、瞬く間に受け入れられ、急激な変容が起ころうとしています。我々弁理士も、気を引き締めて、これから起こり得る様々な変容に臨機応変に対応していく必要があると痛感しています。

### 3. 会務報告

弁理士会の会務は、新型コロナ禍の影響で立ち上げが遅れたところがほとんどですが、現時点ではいずれもオンライン会議（Zoomミーティング）を活用して会務活動を行っています。私の担当する附属機関、委員会、WG等の活動状況等についてご報告します。

#### 【中央知的財産研究所】

中央知的財産研究所は、平成8年に設立されて以来、様々な知的財産制度及び弁理士制度に関する調査研究及び情報発信を続けてきました。本研究所は、アカデミアや法曹界の先生方と実務家である我々弁理士との貴重な交流・意見交換の場となっており、またその研究成果は、平成21年から別冊パテント誌として発行され、知財界において大変好評を得ています。これらの研究成果は、平成30年9月から、電子データとして日本弁理士会HPに公表されるようになり、さらに令和元年10月からは、



校了済みの論文から順次公表する先行公開制度を導入し、より迅速に最先の知財研究情報を提供できるようにしました。また、時代に即した新たな研究テーマを会員の皆様からも広く募集し、より一層有意義な研究成果をお届けしていく予定です。

#### 【選挙管理委員会】

本年度は、コロナ禍において如何にして安全かつ公正に選挙を行うかが大きな課題でした。秋以降の感染拡大を予想し、選挙を従来よりもできる限り前倒しにし、またより広いスペースが確保できる灘尾ホールを開票場所として、感染防止対策を十分に行いながら開票作業を行い、安全かつ公正な選挙を遂行しました。

#### 【弁理士推薦委員会】

弁理士推薦委員会は、外部諸団体などに対する弁理士の推薦依頼への対応及び推薦の確認、裁判所調査官等候補者の選定を行う委員会です。オンライン会議を活用して委員会を適宜開催し、適切な弁理士の推薦を行うことができました。各種団体への適正な弁理士の推薦は、弁理士会や弁理士自身の信頼を広げていくためにも非常に重要であると感じています。

#### 【特許委員会・バイオ・ライフサイエンス委員会・農林水産知財対応委員会】

これらの実務系委員会は、新型コロナ禍の影響により、立ち上げが5月～6月となりましたが、オンライン会議を活用して、現時点で従来通りの会務活動（正副委員長会、全体会及び各部会に分かれての調査・研究）が遂行されています。時間が少なくなった分、本年度中に十分な研究成果を出すのは大変ですが、その中から、できる限りの研究成果をウェビナー等により、会員の皆様に有益な情報としてタイムリーに提供する予定です。

また、各委員会には、必要に応じて、特許庁の審判課や審査基準室・品質管理室との意見交換、産業構造審議会における審議事項の検討、審判実務者研究会への研究員の推薦等に積極的に参画いただいております。これらの実務系委員会の叡智が、弁理士会全

体の会務運営に良好に反映されていると考えます。特に、農林水産知財対応委員会には、弁理士法改正に向けてタイムリーに対応いただいております。農水知財相談窓口の設置や、弁理士会HPに特設サイトを設定し、農水知財を広く浸透させていく予定です。

#### 【知財戦略推進WG】

本WGは、「政府の知的財産戦略本部、知的財産推進計画、産業構造審議会、ISO委員会等の検討状況にタイムリーに対応し、必要な調査・研究・提言を行うこと」を目的に、本年度新たに設置されたWGです。具体的には、関連する各種委員会から横断的に委員を選出し、テーマに沿って適切に議論を交わし、これらの審議会や委員会に参加している弁理士委員を情報・政策面からサポートします。ここでの意見や議論は役員会でも共有し、日本弁理士会として総合的に意見を集約していくことを目指しています。

#### 【法曹界連携WG】

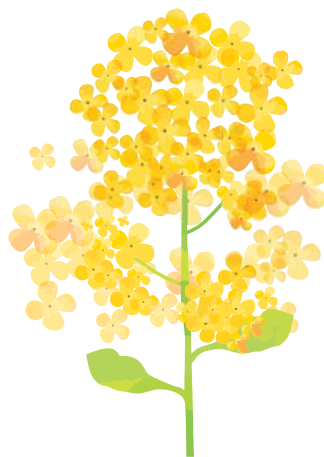
本WGは、「裁判所、日弁連等の法曹界と相互理解や意見交換などを通じて連携を図るとともに、必要な調査・研究・提言を行うこと」を目的に、本年度新たに設置されました。知財訴訟経験が豊富な弁理士、弁護士資格を持つ弁理士、裁判所調査官経験者等がWG委員として参画し、法曹界や他団体との連携を深め、知財訴訟に特化した活動を行っていきます。特許法だけではなく、意匠法・商標法・不正競争防止法・著作権法等、広範に問題意識を持ち、そこで得られた知見や研究成果は、日本弁理士会における他の会務活動や会員に還元していきます。

#### 【地域会（中国会）】

本年度は、新型コロナ禍の影響でオンライン会議を活用することにより、全ての地域会との語る会に多くの正副会長が出席し、また、地域会サミットも全地域会が一堂に会して開催することとなり、今までにない貴重な意見交換の場となりました。

#### 4. おわりに

新型コロナ禍の影響により、日本弁理士会の会務活動も様々な点で変容せざるを得ない事態が生じると思われますが、本質を見誤ることなく着実に会務活動を実行し、むしろこの新型コロナ禍を奇貨として、より良い会務活動を実現していけるよう努力していきたいと思います。また、各官庁や外部団体・機関との交流（展示会、懇親会、セミナー、意見交換会等）もしばらくは制限的とならざるを得ませんが、アフターコロナに向けてこれらの交流の場が縮小されないように留意する必要があると考えています。残された約4カ月、副会長としての会務活動を精一杯やりきる所存です。



## コロナ禍における会務

日本弁理士会副会長  
茜ヶ久保 公二



### 1. はじめに

弁理士連合クラブ（連合）の推薦を頂き、2019年度日本弁理士会の副会長を務めております茜ヶ久保公二です。

連合の会員の皆様には、日ごろからご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、年度のスタート早々に政府より緊急事態宣言が発出され、以降も、この感染症の影響を受ける形で事業を実行して参りました。連合の会員の皆様からは、直接お会いしてご意見等を賜る機会がなかなか持てないなかでの会務となっておりますが、そうしたなかでも、皆様のご意見を会務に反映させるべく日々精進しております。

この場をお借りし、私の担当する事業についてご報告させていただきます。

### 2. 会務報告

以下では、私の担当する機関・委員会のうちいくつかの活動について簡単にご紹介いたします。

#### （1）広報センター

本年度、広報センターでは、日本弁理士会短中期広報戦略に基づいて、本年度は、「秘密結社 鷹の爪」を主力コンテンツとする株式会社ディー・エル・イーとコラボレートして、オリジナルキャラクター「発明王ニバンセンジ」の動画を作成し、全5話及び「秘密結社 鷹の爪」とのコラボ動画を公開しました。本年度は、コロナ禍であることから、視聴される皆様が不快感を抱かれることなく、ポジ

ティブに捉えてくださるコンテンツを心がけて制作を行っています。

【発明王・ニバンセンジ（右）と弁理士のたまご・半熟たまご（左）】



<https://www.jpaa.or.jp/nibansenji/>

広報センターでは、また、日本弁理士会の機関誌である月刊「パテント」の電子書籍化（製本書籍の一部廃止）について検討を進めています。特に、コロナ禍において、特許事務所や会員企業においてリモートワークが定常的に行われるなかであって、「主たる事務所」に送付される製本書籍はアクセスが悪いといったお声を多くいただいております。会員の皆様の利便性向上を図る施策として進めています。

#### （2）意匠委員会

令和元年度の意匠法改正では、1888（明治21年）に意匠条例が成立して以来維持されてきた「物品」の枠を超え、建築物や画像自体が保護されるこ

とになりました。その改正意匠法は、令和2年4月1日に施行されて以降、新たな保護対象についての意匠登録出願件数は、10月1日時点で、以下の件数を数えています。

|          | 画 像 | 建築物 | 内 装 |
|----------|-----|-----|-----|
| 意匠登録出願件数 | 450 | 204 | 132 |

意匠委員会では、引き続き意匠制度についての政策提言等を行っていくとともに、意匠法によるデザインの保護が、特許や商標による保護と同様に、知的財産保護のひとつの選択肢として現場で常に検討される対象になることを目指して、意匠法の周知活動及び周知活動に使えるコンテンツの作成を進めています。

### (3) 情報企画委員会・情報室

情報企画委員会・情報室は、日本弁理士会のITインフラの企画や整備を行っています。

本年度は、当初よりコロナ禍の影響により、日本弁理士会の会議のほとんどすべてにおいてウェブ会議システムが用いられ、それに伴い、本会のインターネット回線設備、端末などの課題が浮き彫りとなりました。ウィズコロナとともにポストコロナ時代も見据えて、ウェブ会議の運営だけでなく、ウェブ会議を併用した会議を円滑に行いうるよう、ITインフラの整備を進めています。

また、日本弁理士会の基幹システムである会員総合データベースの再構築の検討を進めています。会員の皆様が使いやすく、また、永続的に必要になる維持管理費や定期的なシステムの改修費が低減（半減）されるよう、検討を進めています。

### (4) 知財プレゼンス向上委員会

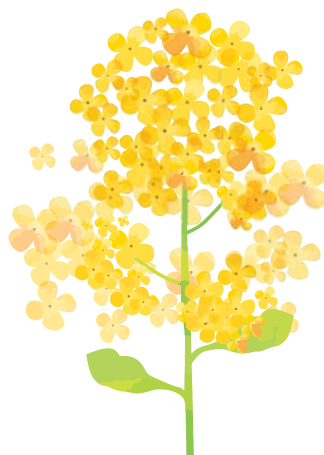
知財プレゼンス向上委員会は、企業又はアカデミアに所属する弁理士と、事務所に所属する弁理士が、半数ずつ所属し、それぞれの弁理士が共同してその絆を深めつつ、知的財産のプレゼンスを向上させるための施策を検討しています。

本年度は、昨年度に立案した3つの施策である、①知財プレゼンスを向上させるための知財教育関連施策（大学・ベンチャー企業に対する施策、弁理士

自信・弁理士会に対する施策等）、②資金・保険関連施策（知財投資ファンドの創設、大学・公的研究機関における知財の一元管理、税制、関連施策、大学・スタートアップ企業の知財保険制度等）、および③マッチング関連施策（大学と企業とのマッチング、産学共同研究強化のガイドライン関連施策、アカデミア及び企業弁理士のコミュニティ形成施策等）を引き続き検討し実行していきます。

### 3. おわりに

最後になりましたが、弁理士連合クラブのご発展を祈念すると共に、1年間ご尽力くださった吉村俊一幹事長に感謝申し上げる次第です。





### 歴史に残る異常な年、 令和二年を振り返って

#### 弁理士連合クラブ副幹事長 梶 俊和



令和二年度弁理士連合クラブ副幹事長を拝命して  
おりました梶俊和です。管掌は総務委員会と政策委  
員会となります。各委員会の職務は弁理士連合クラ  
ブ会則第19条に規定されておりますが、総務委員  
会は、弁理士連合クラブの運営総務全般を担当し、  
主として事業全般の管理、予算全体の管理、幹事会  
や総会の準備と開催が業務となります。政策委員  
会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策について  
の調査、検討を担当し、主として弁理士会総会議案に  
ついての事前検討や意見提出、他会派との政策調整  
や議論などが業務となります。総務委員会は、委員  
長に河部康弘先生、副委員長に河合利恵先生に就任  
頂きました。政策委員会は、委員長に吉田倫太郎先  
生、副委員長に権正英樹先生に就任頂きました。

ご承知の通り、今年はコロナ感染拡大に始まり、  
4月頃の「緊急事態宣言」を経て、年末（原稿執筆  
時点）の現在においてもなお第三波感染拡大という  
状況の中で、例年とは全く異なる状況下での連合運  
営となりました。この異常ともいえる状況下で各委  
員長、副委員長を始めとする委員の方々には様々  
なご苦労をおかけしたことと思います。世界的に感染  
拡大の様相を呈した新型コロナという感染症は、結  
局今年度中に治療薬もワクチンも完成しませんでした。  
従来の生活様式が通用しない新しい世界の中  
で、例えば対面で人と会うことが殆どできず、代  
わりに様々な会議や業務がオンラインで行われるこ  
とが当たり前となりました。

総務委員会としては、いきなり2月の定時総会を  
開催すべきか否かという判断が必要となり、結局、

9月まで延期するとともに該当する会則改正を行う  
ことで対応致しました。今年度内で、3回の総会  
（定時・臨時含む）及び幹事会を開催し、日本弁理  
士会役員定時選挙立候補者の推薦、弁理士連合クラ  
ブ次年度役員の選任等の議案を諮りましたが、密を  
避ける、換気をする、消毒をする、マスクやシール  
ドで飛沫飛散防止をする等、絶対にクラスター発生  
とならないよう極めて慎重な対応が求められまし  
た。

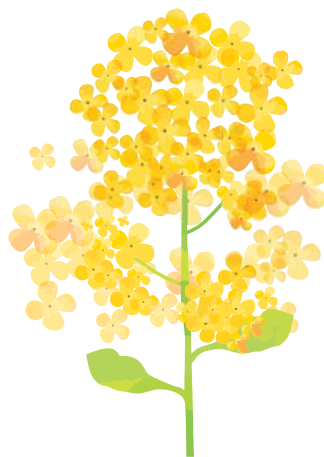
なお、今年度は、日本弁理士会や三派関連行事に  
も大きな変更があり、例えば春の役員慰労会・激励  
会も、日弁旅行会や西弁旅行会も中止となりました。  
我が連合旅行会も中止となったので、人と会っ  
たり意見交換をしたりという機会が大きく減少した  
のはとても残念でした。

政策委員会としては、日本弁理士会の総会議案の  
対応がメインでした。主として東京倶楽部ビル14  
階の増床に関する議案や弁理士会館2階及び地下ス  
ペースの活用に関する議案等について、弁理士連合  
クラブとしての意見提出を行いました。また、今年  
度は日本弁理士会会長選挙があり、日弁推薦の会長  
候補予定者（杉村純子先生）の政策説明会対応、政  
策内容の分析や議論を行いました。会長候補予定者  
の政策に関し、弁理士連合クラブとして意見交換や  
要望の提出を行い、弁理士連合クラブとして共同推  
薦をすべきか否かの議論を行いました。最終的に我  
が弁理士連合クラブも共同推薦を機関決定し、その  
結果、無事無投票での当選となりました。

なお、選挙の経緯と結果についての詳細は役員協

議担当の潮副幹事長のご報告に譲りますが、今年は久しぶりに副会長選挙が投票選挙となり、弁理士連合クラブ推薦の笹野拓馬先生、永岡重幸先生が当選を勝ち取ったことは素晴らしい結果でした。ちなみに、連合推薦の他の役員候補者（監事候補者、常議員候補者）も全員が当選となり一安心をしました。

今年度も残すところあと1ヶ月弱となりました。世界中のあらゆる経済活動が萎縮する中で、日本弁理士会同様に我が弁理士連合クラブも様々な活動自粛、事業規模縮小をせざるを得ない一年でした。飲食店や企業の倒産、若年の芸能人の自殺など暗いニュースが相次ぎ、毎日のように感染者の増減に注視する一年でした。吉村幹事長、笹川・潮両副幹事長におかれましては、難しい舵取りに迫られる局面も多々あったかと思います。ご苦勞に感謝申し上げます。来年以降の経済活動、弁理士業界動向が新型コロナの影響によりどのように翻弄されていくのか全く見通せないままの越年となりそうですが、早期の終息・克服に期待しつつ、会員の皆様の会務へのご協力に感謝しつつ、筆を置きたいと思います。



### コロナに尽きる一年 早期の収束を願って

弁理士連合クラブ副幹事長  
笹川 拓



令和2年度、吉村俊一幹事長の下、副幹事長を務めさせて頂きました笹川拓です。機関誌「連合」の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本年度、私は副幹事長として、企画委員会及び研修委員会を担当させて頂きました。

昨年は弁理士連合クラブの企画委員長を務めさせて頂き、新潟県の越後湯沢への旅行会を企画しました。本年度、吉村幹事長から企画・研修担当の副幹事長就任の打診を頂いた際には、昨年の企画委員長から企画担当副幹事長に順調に昇進？してしまったものと思いました。今年の頭には、現在の世界の状況は予想するべくもなく、旅行会はどの方面にしようかなあと悩んでいたほどでしたが、徐々にコロナウイルスが世界に広まっていったことはご存知の通りです。

毎年、弁理士連合クラブの旅行会は9月の上旬に行うのが定例であります。今年は開催予定だったパラリンピックの閉会式と抵触するとのことで、年初の段階では本年度は11月に旅行会を開催する方向で旅行会の企画を始動する予定でございました。

そうこうしているうちに、コロナウイルスが世界に蔓延してしまい、4月の緊急事態宣言下、本年度旅行会の中止が決定しました。旅行ができる、自由に移動できる、知人と会う、飲みに行く、ただただ普通の日常と思っていたことができない、何気ない日常がどんなに大切なものであったか、痛感する一年でした。

そのため、私のもう一つの担当委員会である研修委員会についても、旅行会で研修会を行うことが定

例となっており、本年度の旅行会の中止に伴い中止となりました。

企画委員会のもう一つのミッションである機関誌「連合」については、本稿執筆時点において執筆をお願いした先生方からの原稿が続々と集まってきている状況です。12月中には小島先生を中心に委員の先生方と共に発行準備を進めていく予定です。年明けの早いうちに弁理士連合クラブのホームページにアップすることを目標に頑張っております。

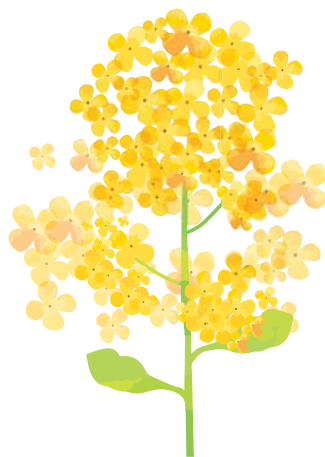
実は、この機関誌「連合」の編集にも、コロナウイルスの影響が出ています。例年、機関誌「連合」の表紙には、その年の旅行会で撮影した写真を用いています。昨年度の機関誌「連合」においては、昨年度の旅行会の観光で訪れた新潟県の清津峡の写真が表紙を飾っています（実は私が撮影したものが選ばれました）。しかしながら、本年度の旅行会の中止に伴い、今年の表紙はどのようにするのか、吉村幹事長を始め、悩んでおります。どのような表紙となって、機関誌「連合」が発行されるのか、私自身、全く想像できません。この原稿を読まれた方は、是非、表紙を確かめてみて下さい。

本年度の企画委員会ですが、委員長は小越一輝先生に就任して頂き、副委員長には小島猛先生に就任して頂きました。両先生には快く、かつ、着々と企画委員会の業務をこなして頂きました。両先生方のおかげで弁理士連合クラブの会務運営を滞りなく進めることができましたことを、心より感謝致します。また、委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

また、研修委員会は、委員長に山田武史先生、副委員長に永井望先生に就任して頂きました。両先生及び委員の皆様、ご協力ありがとうございました。研修会が旅行会で開催できる日がまた来ることを願います。

コロナウイルスが今後どのようなようになっていくのが現段階では不明です。安全なワクチンや特效薬が出てくることを心から期待します。旅行会や研修会を開催できるということが、こんなにも幸せなことだったことに気が付いた一年でした。来年の旅行会や研修会もどのようなようになっていくのかが見通せない状況ですが、少しでも状況が改善し、前進していくはずです。コロナ禍前の社会に完全に戻ることはないのかもしれませんが、旅行会や研修会を開催できるような普通の日常に戻っていくことを祈念します。

最後になりますが、若輩者の私が弁理士連合クラブ副幹事長の大役を何とか最後まで務めることができましたのは、吉村俊一幹事長、梶俊和副幹事長、潮太朗副幹事長、企画委員会及び研修委員会の皆様、さらには弁理士連合クラブの会員の方々の御協力があったからであり、ここに深く御礼申し上げます。一年間ありがとうございました。





### 密になれない？ 一年間を振り返って



弁理士連合クラブ副幹事長  
潮 太郎

弁理士連合クラブの令和2年度副幹事長を務めました、弁理士クラブ所属の潮太郎です。本年度は、吉村俊一幹事長のもと、不慣れながらも何とか副幹事長としての役目を果たすことができました。これも、弁理士連合クラブ会員の皆様のご協力のおかげであり、ここに御礼申し上げます。

本年度を振り返りますと、なんといってもコロナ禍にあって、密になることの回避、テレワーク、ウェブ会議などが推奨されたという特異な時期であったといえます。そんな中、会員一団となって連合の活動を展開できたか、振り返ってみたいと思います。

私は、役協委員会と調整委員会とを担当させて頂きました。

役員協議委員会では、委員長を高田大輔先生（同友）、副委員長を船津暢宏先生（弁ク）にお引き受け頂きました。令和3年度日本弁理士会役員選挙では、当初、会長選以外は投票になる見込みともあって、少し緊迫した雰囲気の中で委員の皆様と活動してまいりました。結果的に、副会長のみが投票選挙となり、同友会所属の笹野会員、弁ク所属の永岡会員、ともに当選を果たすことができました。これもひとえに、役員協議委員会の委員をはじめとする会員の皆様のご協力のおかげです。

そして11月には、吉村幹事長の主導の下で無事、当選祝賀会を開催することができました。参加者の皆さんのソーシャルディスタンスを保ち、コロナ対策グッズを多数、用意した上でウェブ参加も可能という、かつてない画期的なスタイルを導入でき

ました。このように、全く前例のない形式でも無事、成功できたのは、幹事長をはじめ梶俊和先生（弁ク）、笹川拓先生（同友）の両副幹事長、高田委員長の皆様とともに知恵を出しあって協力できた結果だと思います。どうもありがとうございました。

調整委員会では、委員長を永井義久先生（弁ク）、副委員長を長内行雄先生（同友）にお引き受け頂きました。しかしながら、今年度は特に調整委員会の活動はありませんでした。

その他、コロナ禍による活動の制約により、他会派の皆様と顔をあわせる機会の多くが中止になるなど、やむを得ない理由により十分に活動できなかった面も否めませんが、上述のように、会員一団、心だけは密になって活動できことをうれしく思います。皆様、一年間ありがとうございました。

## 令和2年度弁理士連合クラブのあゆみ

(2020.1. 1 ~ 2020.12.31)

総務委員会 委員長 河部 康弘

- 令和2年1月16日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 1月29日 第1回正副幹事長会／第1回総務委員会 新旧引継ぎ
- 2月 3日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 2月 3日 十派幹事長会
- 2月10日 第1回総務委員会（メール会議）  
会則6条の改正についての答申の決定
- 2月18日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 2月19日 機関誌『連合』第30号 発行及びホームページに掲載
- 2月27日 延期：第1回幹事会、第1回定時総会、懇親会  
新型コロナウイルス感染症のため
- 3月 6日 中止：東海協議会／慰労・激励会 西日本弁理士クラブ／慰労・激励会  
新型コロナウイルス感染症のため
- 3月13日 日本弁理士会 臨時総会
- 4月10日 企画委員会・研修委員会 新旧引き継ぎ  
新型コロナウイルス感染症の影響により旅行会・研修会の中止決定
- 5月15日 日本弁理士会 定時総会議案の説明
- 5月29日 日本弁理士会 定時総会
- 7月 2日 第1回政策委員会 船津副会長との日本弁理士会定時総会前の意見交換会
- 7月 8日 第2回政策委員会 会長候補者政策説明会
- 8月26日 日本弁理士会役員選挙説明会
- 9月 1日 第1回幹事会、第1回定時総会  
令和3年度日本弁理士会役員（会長・副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦の件
- 9月 7日 令和3年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付・選挙運動開始
- 9月 8日 第2回幹事会、第1回臨時総会  
令和3年度日本弁理士会役員（会長・副会長・監事・常議員）候補予定者変更の件
- 9月 9日 第1回役員協議会委員会
- 9月 9日 令和3年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付終了
- 9月16日 第2回役員協議委員会

- 10月 9日 令和3年度日本弁理士会役員定時選挙  
開票、開票結果公示、当選人の決定及び公示
- 11月 2日 第3回役員協議委員会（Zoomによる開催）
- 11月 2日 正副幹事長会
- 11月16日 第4回役員協議委員会（Zoomによる開催）
- 11月16日 正副幹事長会（Zoomによる開催）
- 11月26日 日本弁理士クラブ主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 11月27日 第3回幹事会、第2回臨時総会  
令和3年度弁理士連合クラブ役員の選任について承認を求める件
- 11月27日 連合主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 12月 4日 日本弁理士会 臨時総会議案の説明
- 12月18日 日本弁理士会 臨時総会



## 総務委員会

委員長 河部 康弘

### 1. 委員会の構成

|        |            |
|--------|------------|
| 委員長    | 河部 康弘 (弁ク) |
| 副委員長   | 河合 利恵 (同友) |
| 委員     | 瀧澤 匡則 (弁ク) |
|        | 加藤 和孝 (弁ク) |
|        | 今堀 克彦 (弁ク) |
|        | 関 昌充 (同友)  |
| 担当副幹事長 | 梶 俊和 (弁ク)  |

### 2. 職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行
- (2) 特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則改正の審議及び答申

### 4. 活動報告

- (1) 第1回幹事会及び第1回定時総会

開催日時 令和2年9月1日(火)  
20:00~21:00

場 所 弁理士会館  
議 案

#### ①第1号議案

令和3年度日本弁理士会役員(副会長・監事・常議員)候補予定者の推薦について承認を求める件

#### ②第2号議案

令和3年度日本弁理士会役員(会長)候補予定者の推薦について承認を求める件

#### ③第3~6号議案

2月27日開催予定であった定時総会における議案(第1号議案~第4号議案)について承認を求める件

#### ④第7号議案

弁理士連合クラブ会則第6条改正の承認を求める件

#### ⑤その他

報告事項(選挙情報等)

※ 当初令和2年2月27日(木)に第1回幹事会及び第1回定時総会を開催の予定であり、その旨の開催通知もしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期(令和2年2月25日に延期の連絡)

- (2) 第2回幹事会及び第1回臨時総会

開催日時 令和2年9月8日(火)  
18:30~19:00

場 所 弁理士会館  
議 案

#### ①第1号議案

令和3年度日本弁理士会役員定時選挙において弁理士連合クラブから推薦した常議員候補者(弁理士同友会会員)の変更について承認を求める件

- (3) 第3回幹事会及び第2回臨時総会

開催日時 令和2年11月27日(金)  
幹事会

場 所 弁理士会館  
議 案

#### ①第1号議案

令和3年度弁理士連合クラブの役員の選任について承認を求める件

以上



## 政策委員会

委員長 吉田 倫太郎

### 1. 委員会の構成

|        |             |
|--------|-------------|
| 委員長    | 吉田 倫太郎 (同友) |
| 副委員長   | 権正 英樹 (弁ク)  |
| 委員     | 古谷 史旺 (同友)  |
|        | 小林 保 (同友)   |
|        | 山川 茂樹 (弁ク)  |
|        | 山本 晃司 (弁ク)  |
|        | 丸山 英一 (同友)  |
|        | 山崎 高明 (同友)  |
|        | 奥川 勝利 (弁ク)  |
|        | 藤浪 一郎 (同友)  |
|        | 加藤 和孝 (弁ク)  |
|        | 美川 公司 (弁ク)  |
| 担当副幹事長 | 梶 俊和 (弁ク)   |

### 2. 職務

政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 日本弁理士会の政策に関する対応
- (2) 日本弁理士会の総会、常議員会の議案等への対応
- (3) 知的財産制度及び弁理士制度に関する検討、提言

### 4. 活動報告

- (1) 令和2年3月5日(木) 日本弁理士会から、特許庁からの弁理士法改正案についての意見募集
- (2) 令和2年5月15日(金) 日本弁理士会から、東京倶楽部ビル増床についての意見募集
- (3) 令和2年7月2日(木) 第1回政策委員会 弁理士会館3D会議室 18:00～
- (4) 令和2年7月8日(水) 日本弁理士クラブ 次年度会長候補予定者による政策説明会 弁理士会館3DE会議室及びウェブ会議 18:00～

- (5) 令和2年9月1日(火) 弁理士連合クラブ 第2回幹事会、第1回臨時総会

- (6) 令和2年10月5日(月) 会館整備構想検討WGからの中間報告書に関する意見募集

### 5. 雑感

吉村連合幹事長、梶連合副幹事長の下で、本年連合クラブの政策委員会の委員長を務めさせていただきました。本年は、次年度日本弁理士会の会長選の年でした。他方、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リアルな委員会を開催することが難しいという年でもありました。その渦中におきましても、吉村連合幹事長のリーダーシップにより、工夫を凝らして政策説明会を開催することができました。また、梶連合副幹事長、奥川弁ク幹事長、笹野同友幹事長には、多大なアドバイス、ご指導をいただき感謝いたします。

政策委員会の皆さまのおかげで無事に終えることができ、心より感謝いたしますと共に、お礼を申し上げます。

## 企 画 委 員 会

委員長 小 越 一 輝

### 1. 委員会の構成

委員長 小 越 一 輝 (弁ク)  
副委員長 小 島 猛 (同友)  
委員 須 藤 淳 (弁ク)  
岩 田 耕 一 (弁ク)  
松 本 直 子 (同友)  
担当副幹事長 笹 川 拓 (同友)

### 2. 職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関紙の編集、発行に関する事項を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
- (2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
- (3) 機関紙の発行
- (4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行
- (5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

### 4. 活動報告

- (1) 弁理士連合クラブ旅行会  
本年度弁理士連合クラブ旅行会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
- (2) ホームページの維持、管理  
弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ(幹事長挨拶、組織図、年間行事)のアップデートを行った。

### (3) 機関紙の発行

令和3年1月末にホームページを通じて発行する予定である。

### 5. 雑感

今年は、新型コロナウイルス感染症により、弁理士連合クラブの一大イベントである旅行会が中止になりました。来年は、新型コロナウイルスの問題が終息して、例年通り、旅行会を開催できることを切に望んでいます。

## 役員協議委員会

委員長 高田 大輔

令和2年度の弁理士連合クラブ役員協議委員会委員長、及び令和3年度日本弁理士会役員定時選挙の選挙対策委員長を拝命しておりました高田です。本年度の役員協議委員会の活動を報告いたします。

### (1) 令和3年度日本弁理士会役員定時選挙関係

今年は、新型コロナウイルスの影響により、恒例の旅行会等がすべて中止となり、旅行会等を通じての選挙に関する情報収集はできませんでした。一方、三派（弁理士連合クラブ、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブ）の幹事長同士が随時情報交換を行い、選挙に臨みました。

弁理士連合クラブからは、単位会派会員から副会長候補2名、監事候補1名、常議員候補6名を推薦するとともに、日本弁理士クラブ推薦の会長候補であった杉村純子先生を共同推薦いたしました。

会長、監事及び常議員は無投票当選となりましたが、副会長選については1名定員オーバーとなり、投票選挙に突入しました。選挙期間中、2回の拡大役員協議委員会を開催し、各単位会派の幹事長にご参加頂き単位会派同士の情報交換を行い、単位会派同士がしっかりと連携をとり、共に選挙戦を戦いました。

お陰様で、2名の副会長候補の当選を果たすことができ、今年度、弁理士連合クラブで推薦したすべての候補者を無事に当選させることができました。当選者の皆様、大変おめでとうございました。

当会推薦の当選者（令和3年度役員）は以下の通りです（敬称略）。

|       |         |
|-------|---------|
| 会 長   | 杉 村 純 子 |
| 副 会 長 | 永 岡 重 幸 |
| 副 会 長 | 笹 野 拓 馬 |
| 監 事   | 渡 邊 一 平 |

|       |         |
|-------|---------|
| 常 議 員 | 粕 川 敏 夫 |
| 常 議 員 | 權 正 英 樹 |
| 常 議 員 | 潮 太 朗   |
| 常 議 員 | 山 下 幸 彦 |
| 常 議 員 | 小 越 一 輝 |
| 常 議 員 | 横 田 真 澄 |

### (2) 令和3年度役員当選祝賀会

新型コロナが蔓延する状況で、吉村会長を中心に、役員協議委員会をZoomにより開催し、今年度の祝賀会の開催形態を模索しました。例年、東海大学校友会館を借りて立食形式で行い、歓談の合間にアトラクションを催していました。しかしながら、今年度は3密を避けるため、以下のような例年と異なる形式を採用しました。

- ・弁理士会館の会議室（3A-F）を借り、着座形式の実施（席移動はなし）。
- ・会場への直接出席と、Zoomによる出席との併用。
- ・お弁当、飲み物（ビール及びお茶）の配布（お弁当をその場で食べるかは任意）。
- ・マスク、フェイスシールド、消毒グッズの配布。
- ・アトラクションは中止。
- ・会費を無料化（受付でのやりとり、会計処理の簡素化）。
- ・短時間での実施（18:00～19:10（実績））

当選祝賀会は、令和2年11月27日（金）に実施しました。18名の来賓にご出席頂きました。当会会員からは、22名が会場に出席、5名がZoomで出席しました。式次第を本稿の資料として末尾に添付します。

当日は、来客前に来場者の座席をつくり、来賓席にお名前を書いた紙、式次第、フェイスシール



ド、ウェットティッシュ、お弁当及び飲み物を事前に配置し、受付では出席の確認のみを行いました。余った机をクローク代わりの荷物置き場にした。

座席は、正面中央に話者のスタンドマイクを置き、スタンドマイクから向かって右手側に来賓席、左手側に当会会員席を設け、各席がスタンドマイクに向かうように、長机をハの字状に並べました（写真1）。

また、スタンドマイクの右側に司会台を置き、左手に大画面のプロジェクタを置き、Zoom出席者の顔が出席者に見えるようにしました（写真2）。また、会場内には複数のカメラを置き、必要に応じて画面切替を行い、全ての窓を全開にして十分な換気をしました。

船津役協副委員長に司会をして頂き、潮副幹事長による開会の挨拶の後、吉村幹事長による挨拶がありました（写真2）。写真では見にくいですが、吉村会長はフェイスシールドを着けてのご挨拶となりました。また、井澤次期連合幹事長の紹介及び挨拶がありました。

その後、高田より選挙報告を行い、清水会長、羽鳥日弁幹事長、上羽西弁幹事長から来賓祝辞を頂戴しました（写真3）。来賓祝辞では、上記三名以外のご来賓の紹介及びご挨拶を頂きました。マスクで顔が見えなかったものの、着座で静かに話を聞くことができ、お互いの話をしっかり聞く、ということでは例年より良かったと思いました。

その後、中島相談役によるZoomを通じた乾杯となりました（写真4、5）。初めての試みでしたが、恙なく、うまくいったと思います。例年であれば、乾杯後はしばらくの歓談の時間となるのですが、着座のままでお弁当を食べて頂く一方で、当選者から挨拶をして頂きました（写真6、左から永岡次期副会長、笹野次期副会長、渡邊次期監事、粕川次期常議員（代表挨拶）、杉村次期会長）。その後、古谷相談役の音頭で中締めを行い（写真7）、梶副幹事長の閉会の挨拶で無事にお開きとなりました。



写真1



写真2（幹事長挨拶）



写真3（来賓祝辞）



写真4（乾杯）





写真5 (乾杯)



写真7 (中締め)

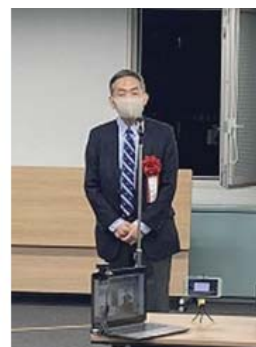


写真6 (当選者挨拶)

### (3) 最後に

本年度は、無事当選を果たすことができましたが、落選した副会長候補（非会派所属）が300票近くを特徴したことで次年度も立候補する、との噂もあります。気を緩めず、各単位会派が気を緩めず、しっかりと準備を行い、連合を通じてしっかりと連携することが肝要と思われます。

吉村幹事長、梶幹事長、潮幹事長、笹川幹事長

を始めとする連合執行部の皆様、船津副委員長を始めとする役協委員会の皆様、奥川幹事長を始めとする弁理士クラブの皆様、笹野幹事長を始めとする弁理士同友会の皆様の多大なご協力及びご支援により、無事にお役目を終えることができます。この場をお借りして皆様に厚く御礼申し上げます。

以上



(資料)

## 弁理士連合クラブ主催 令和3年度日本弁理士会役員当選祝賀会

### 式 次 第

|         |                 |       |
|---------|-----------------|-------|
| 司会      | 弁理士連合クラブ        | 船津 暢宏 |
| 一、開会の辞  | 弁理士連合クラブ副幹事長    |       |
|         | 潮 太朗            |       |
| 一、挨拶    | 弁理士連合クラブ幹事長     |       |
|         | 吉村 俊一           |       |
| 一、選挙報告  | 弁理士連合クラブ選挙対策委員長 |       |
|         | 高田 大輔           |       |
| 一、来賓ご挨拶 | 日本弁理士会会長        |       |
|         | 清水 善廣 殿         |       |
| 一、来賓ご祝辞 | 日本弁理士クラブ幹事長     |       |
|         | 羽鳥 亘 殿          |       |
| 一、来賓ご祝辞 | 西日本弁理士クラブ幹事長    |       |
|         | 上羽 秀敏 殿         |       |
| 一、乾杯    | 弁理士連合クラブ相談役     |       |
|         | 中島 淳            |       |
| 一、新役員挨拶 | 日本弁理士会次期副会長     |       |
|         | 永岡 重幸           |       |
|         | 日本弁理士会次期副会長     |       |
|         | 笹野 拓馬           |       |
|         | 日本弁理士会次期監事      |       |
|         | 渡邊 一平           |       |
|         | 日本弁理士会次期常議員代表   |       |
|         | 粕川 敏夫           |       |
| 一、中締め   | 弁理士連合クラブ相談役     |       |
|         | 古谷 史旺           |       |
| 一、閉会の辞  | 弁理士連合クラブ副幹事長    |       |
|         | 梶 俊和            |       |

### 当選役員名簿（連合推薦）

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 令和3年度日本弁理士会会長        | 杉村 純子 |
| 令和3年度日本弁理士会副会長（弁ク推薦） | 永岡 重幸 |
| 令和3年度日本弁理士会副会長（同友推薦） | 笹野 拓馬 |
| 令和3年度日本弁理士会監事（弁ク推薦）  | 渡邊 一平 |
| 令和3年度日本弁理士会常議員（同友推薦） | 粕川 敏夫 |

令和3年度日本弁理士会常議員（弁ク推薦）

|                      |
|----------------------|
| 権正 英樹                |
| 令和3年度日本弁理士会常議員（弁ク推薦） |
| 潮 太朗                 |
| 令和3年度日本弁理士会常議員（同友推薦） |
| 山下 幸彦                |
| 令和3年度日本弁理士会常議員（弁ク推薦） |
| 小越 一輝                |
| 令和3年度日本弁理士会常議員（同友推薦） |
| 横田 真澄                |

### こ 来 賓

|              |         |
|--------------|---------|
| 西日本弁理士クラブ    |         |
| 西日本弁理士クラブ幹事長 | 上羽 秀敏 殿 |
| 無名会          |         |
| 日本弁理士クラブ幹事長  | 羽鳥 亘 殿  |
| 無名会幹事長       | 香坂 薫 殿  |
| 稲門弁理士クラブ     |         |
| 日本弁理士会次期会長   | 杉村 純子 殿 |
| 日本弁理士会副会長    | 小西 恵 殿  |
| 日本弁理士会次期副会長  | 市川 ルミ 殿 |
| 日本弁理士会次期副会長  | 吉田 正義 殿 |
| 稲門弁理士クラブ幹事長  | 綾木健一郎 殿 |
| P A 会        |         |
| 日本弁理士会副会長    | 杉村 憲司 殿 |
| 日本弁理士会次期副会長  | 中尾 直樹 殿 |
| P A 会幹事長     | 鶴谷 裕二 殿 |

春秋会

|           |         |
|-----------|---------|
| 日本弁理士会会長  | 清水 善廣 殿 |
| 日本弁理士会副会長 | 須藤 晃伸 殿 |
| 春秋会幹事長    | 高城 貞晶 殿 |

南甲弁理士クラブ

|               |         |
|---------------|---------|
| 日本弁理士会副会長     | 藤沢昭太郎 殿 |
| 日本弁理士会次期副会長   | 井上 佳知 殿 |
| 日本弁理士クラブ次期幹事長 | 中村 仁 殿  |
| 南甲弁理士クラブ幹事長   | 林 裕己 殿  |

# 令和2年度弁理士連合クラブ

役員・委員長・副委員長・委員

幹事長 吉村 俊一（同友）

副幹事長 梶 俊和（弁ク）（総務、政策）

笹川 拓（同友）（企画、研修）

潮 太郎（弁ク）（役協、調整）

幹事 永井 義久（弁ク） 小川 眞一（同友） 船津 暢宏（弁ク） 高田 大輔（同友）

奥川 勝利（弁ク） 笹野 拓馬（同友） 山下 幸彦（同友） 美川 公司（弁ク）

小越 一輝（弁ク） 松本 直子（同友） 吉田倫太郎（同友） 河部 康弘（弁ク）

監事 真田 修治（弁ク） 長内 行雄（同友）

相談役 原田 信市（同友） 古谷 馨（弁ク） 菊池 新一（同友） 山川 政樹（弁ク）

小池 晃（同友） 絹谷 信雄（弁ク） 田辺 敏郎（同友） 古谷 史旺（同友）

伊藤 進（弁ク） 小林 正治（同友） 須山 佐一（弁ク） 中島 淳（弁ク）

木下 實三（弁ク） 吉田 芳春（同友） 永井 義久（弁ク） 川久保新一（弁ク）

渡邊 一平（弁ク） 小川 眞一（同友） 鈴木 知（弁ク） 山川 茂樹（弁ク）

山本 晃司（弁ク） 丸山 英一（同友） 粕川 敏夫（同友） 塩野谷英城（弁ク）

石川 憲（同友）

## 【総務委員会】

委員長 河部 康弘（弁ク）

副委員長 河合 利恵（同友）

委員 今堀 克彦（弁ク） 加藤 和孝（弁ク） 瀧澤 匡則（弁ク）

関 大祐（同友）

## 【政策委員会】

委員長 吉田倫太郎（同友）

副委員長 權正 英樹（弁ク）

委員 古谷 史旺（同友） 小林 保（同友） 山川 茂樹（弁ク） 山本 晃司（弁ク）

丸山 英一（同友） 山崎 高明（同友） 奥川 勝利（弁ク） 藤浪 一郎（同友）

加藤 和孝（弁ク） 美川 公司（弁ク）

【企画委員会】

委員長 小越 一輝（弁ク）  
副委員長 小島 猛（同友）  
委員 須藤 淳（弁ク） 岩田 耕一（弁ク） 松本 直子（同友）

【役員協議委員会】

委員長 高田 大輔（同友）  
副委員長 船津 暢宏（弁ク）  
委員 井上 誠一（弁ク） 山本 晃司（弁ク） 絹谷 晴久（弁ク）

【調整委員会】

委員長 永井 義久（弁ク）  
副委員長 長内 行雄（同友）  
委員 絹谷 晴久（弁ク） 山内 輝和（弁ク）

【研修委員会】

委員長 山田 武史（同友）  
副委員長 永井 望（弁ク）  
委員 權正 英樹（弁ク） 横田 香澄（同友）



# 弁理士連合クラブ歴代役員

## 【昭和62年度】

幹事長 山川政樹  
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎  
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦  
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄  
土橋 皓 中畑 孝 中山 清  
原田信市 古谷 馨 米屋武志  
監事 佐々木秋市 丹波宏之  
顧問 当分の間置かない

## 選挙対策委員会

委員長 佐々木功

## 【平成元年度】

幹事長 古谷 馨  
副幹事長 佐々木功 佐藤孝雄 原田信市  
幹事 磯野道造 菊池新一 絹谷信雄  
志賀正武 下田容一郎 武田賢市  
土橋 皓 中山 清 丹波宏之  
古谷史旺 山川政樹 米屋武志  
監事 安達房次郎 須田孝一郎

## 【昭和63年度】

幹事長 山川政樹  
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎  
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦  
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄  
土橋 皓 中畑 孝 中山 清  
原田信市 古谷 馨 米屋武志  
監事 佐々木秋市 丹波宏之  
顧問 当分の間置かない  
総務委員会  
委員長 山元俊仁

## 総務委員会

委員長 須山佐一  
副委員長 吉田精孝  
委員 大原拓也 恩田浩宣 大貫和保  
小倉正明 高橋康夫 田辺敏郎  
仁平 孝 渡邊喜平

## 政策委員会

委員長 原田信市  
副委員長 守谷一雄  
委員 天野 泉 黒田博道 紺野正幸  
竹内 裕 竹山宏明 戸村 隆  
松田雅章 真田修治

## 政策委員会

委員長 磯野道造  
副委員長 小田治親  
委員 黒川弘朗 竹内 裕 秋山 修  
守谷一雄 須山佐一 木下實三  
三澤正義 羽村行弘

## 企画委員会

委員長 唐木浄治  
副委員長 木村高久  
委員 山崎輝緒 齋藤美晴 佐藤幸男  
渡部敏彦 古谷史旺 大津洋夫  
小林正治 今野耕哉

## 企画委員会

委員長 紺野正幸  
副委員長 森 哲也  
委員 大貫和保 黒田博道 田辺敏郎  
辻 実 中山伸治 松田雅章  
村田幹雄 渡邊喜平

## 選挙対策委員会

委員長 丹羽宏之

## 【平成2年度】

幹事長 佐々木功  
副幹事長 菊池新一 佐藤孝雄 下田容一郎  
天野 泉 小池 晃 絹谷信雄  
木下實三 紺野正幸 志賀正武  
土橋 皓 中畑 孝 中山 清  
原田信市 山川政樹 米屋武志  
監事 秋本正實 武田賢市

### 総務委員会

委員長 小林正治  
副委員長 山崎輝緒  
委員 加藤和詳 五十嵐和壽 木村高久  
竹山宏明 齋藤美晴 本田 崇  
仁平 孝 羽村行弘

### 政策委員会

委員長 下田容一郎  
副委員長 坂口信昭  
委員 秋元芳雄 飯田昭夫 積田輝正  
中島 淳 原田信市 三澤正義  
守谷一雄 山元俊仁

### 企画委員会

委員長 吉田精孝  
副委員長 渡部敏彦  
委員 唐木浄治 黒田博道 桑原 稔  
永井義久 仁科勝史 松田雅章  
本宮照久 渡邊一平

### 選挙対策委員会

委員長 絹谷信雄

## 【平成3年度】

幹事長 菊池新一  
副幹事長 米屋武志 下田容一郎 佐藤孝雄  
幹事 天野 泉 磯野道造 絹谷信雄  
志賀正武 武田賢市 土橋 皓  
中島 淳 中山 清 原田信市  
古谷史旺 山川政樹 山元俊仁  
監事 小田治親 佐々木功

### 総務委員会

委員長 吉田精孝  
副委員長 木村高久

委員 井上誠一 桑原 稔 坂本光雄  
富田和子 羽村行弘 森正 澄  
八鍬 昇 渡部敏彦

### 政策委員会

委員長 中島 淳  
副委員長 坂口信昭  
委員 五十嵐和壽 伊藤 進 大賀眞司  
黒田博道 今野耕哉 竹内 裕  
三澤正義 紺野正幸

### 企画委員会

委員長 黒川弘朗  
副委員長 齋藤美晴  
委員 秋山 修 北村 仁 小林正治  
竹山宏明 鳥羽 修 山口邦夫  
吉田芳春 渡邊一平

### 選挙対策委員会

委員長 佐藤孝雄  
副委員長 天野 泉  
委員 大塚明博 木下實三 下田容一郎  
須山佐一 永井義久 中澤健二  
中畑 孝 中山伸治

## 【平成4年度】

幹事長 原田信市  
副幹事長 志賀正武 絹谷信雄 中島 淳  
幹事 伊藤 進 菊池新一 木下實三  
佐藤孝雄 下田容一郎 須山佐一  
田辺敏郎 戸村 隆 古谷史旺  
山崎輝緒 山本彰司 米屋武志  
監事 磯野道造 紺野正幸

### 総務委員会(担当 中島)

委員長 黒川弘朗  
副委員長 永井義久  
委員 大島陽一 小川利春 高橋康夫  
平山一幸 小倉正明 坂本光雄  
竹山宏明 山本義明

### 政策委員会(担当 志賀)

委員長 佐藤孝雄  
副委員長 戸村 隆  
委員 内田和男 紺野正幸 齋藤美晴  
守谷一雄 天野 泉 今野耕哉

坂口信昭 本田 崇

企画委員会(担当 絹谷)

委員長 吉田芳春

副委員長 関口俊三

委員 川久保新一 富田和子 牧野剛博  
村上光司 井澤 洵 鈴木次郎  
西浦嗣晴 米山淑幸

選挙対策委員会(担当 原田)

委員長 中島 淳

副委員長 竹内 裕

委員 仁平 孝 松山圭佑 山田明信  
渡邊喜平 大塚明博 田辺敏郎  
古谷史旺 米屋武志

【平成 5 年度】

幹事長 絹谷信雄

副幹事長 磯野道造 武田賢市 中島 淳

幹事 (桜門) 井澤 洵 田辺敏郎  
森哲也 大橋 弘  
山本彰司 小池 晃  
(弁ク) 伊藤 進 木下實三  
木村高久 佐藤孝雄  
仁平 孝 山崎輝緒

監事 吉田精孝 中山 清

総務委員会(担当 磯野道造)

委員長 仁平 孝

副委員長 今野耕哉

委員 (桜門) 羽村行弘 大塚明博  
土川 晃 坂本光雄  
(弁ク) 川久保新一 富田和子  
油井 透 村上光司

政策委員会(担当 中島 淳)

委員長 天野 泉

副委員長 渡邊喜平

委員 (桜門) 中山伸治 坂口信昭  
黒川弘朗 川村恭子  
(弁ク) 黒田博道 笹井浩毅  
遠山 勉 西森浩司

企画委員会(担当 武田賢市)

委員長 木村高久

副委員長 秋山 修

委員 (桜門) 長内行雄 飯田昭夫  
仁科勝史 吉田芳春  
(弁ク) 佐藤孝雄 布施行夫  
真田修治 石橋佳之夫

選挙対策委員会(担当 絹谷信雄)

委員長 唐木浄治

副委員長 守谷一雄

委員 (桜門) 恩田博宣 本田 崇  
古谷史旺 森哲也  
(弁ク) 三澤正義 内田和男  
山田明信 石川泰男

【平成 6 年度】

幹事長 米屋武志

副幹事長 天野 泉 守谷一雄 木下實三

幹事 (弁ク) 木村高久 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
三澤正義 永井義久  
(同友) 森 哲也 大橋 弘  
黒川弘朗 小池 晃  
吉田精孝 小林正治

監事 (弁ク) 小田治親  
(同友) 山本彰司

総務委員会(担当 守谷一雄)

委員長 田中雅雄(同友)

副委員長 黒田博道(弁ク)

委員 (弁ク) 原田 寛 北村 仁  
渡邊一平 井上 一  
(同友) 今野耕哉 小倉正明  
本田 崇 竹山宏明

政策委員会(担当 天野 泉)

委員長 木下實三(弁ク)

副委員長 古谷史旺(同友)

委員 (弁ク) 佐藤孝雄 紺野正幸  
真田修治 齋藤美晴  
(同友) 天野 泉 坂口信昭  
大塚明博 吉田芳春

企画委員会(担当 木下實三)

委員長 秋山 修(同友)

副委員長 永井義久(弁ク)

委員 (弁ク) 渡部敏彦 川久保新一  
布施行夫 関口宗昭

(同友) 米山叔幸 旦 武尚  
羽村行弘 桑原 稔

選挙対策委員会(担当 天野 泉)

委員長 三澤正義(弁ク)  
副委員長 中澤健二(同友)  
委員 (弁ク) 村田幹夫 牛木 護  
石川泰男 半田昌男  
(同友) 積田輝正 中山伸治  
本宮照久 飯田昭夫

連絡協議特別委員会(担当 米屋武志)

委員長 仁平 孝(弁ク)  
副委員長 井澤 洵(同友)  
委員 (弁ク) 中島 淳 黒田博道  
(同友) 菊池新一 吉田精孝

【平成 7 年度】

幹事長 佐藤孝雄(弁ク)  
副幹事長 小池 晃(同友)  
古谷史旺(同友)  
伊藤 進(弁ク)  
幹事 (同友) 井澤 洵 田中雅雄  
田辺敏郎 中山伸治  
羽村行弘 吉田精孝  
(弁ク) 須山佐一 中島 淳  
永井義久 仁平 孝  
三澤正義 守谷一雄  
監事 (同友) 積田輝正  
(弁ク) 土橋 皓

総務委員会(担当 小池 晃)

委員長 石川泰男(弁ク)  
副委員長 小林 保(同友)  
委員 (同友) 伊賀誠司 長内行雄  
花村 太 山本義明  
(弁ク) 井上誠一 黒田 壽  
塩田辰也 西森浩司

政策委員会(担当 古谷史旺)

委員長 小倉正明(同友)  
副委員長 齋藤美晴(弁ク)  
委員 (同友) 田村榮一 仁科勝史  
本田 崇 森 哲也  
(弁ク) 川久保新一 中川裕章  
服部雅紀 松田雅章

企画委員会(担当 伊藤 進)

委員長 井上 一(弁ク)  
副委員長 磯野道造(同友)  
委員 (同友) 大貫和保 桑原 稔  
中村盛夫 米山淑幸  
(弁ク) 関口宗昭 佐藤年哉  
保立浩一 山口邦夫

選挙対策委員会(担当 佐藤孝雄)

委員長 中澤健二(同友)  
副委員長 守谷一雄(弁ク)  
委員 (同友) 秋山 修 天野 泉  
大塚明博 山田智重  
(弁ク) 遠山 勉 木下實三  
渡邊一平 渡邊喜平

【平成 8 年度】

幹事長 小池 晃(同友)  
副幹事長 須山佐一(弁ク) (政策・弁ク担当)  
三澤正義(弁ク) (総務・人事担当)  
大橋 弘(同友) (企画・同友担当)  
幹事 (弁ク) 下田容一郎 木村高久  
伊藤 進 紺野正幸  
木下實三 黒田博道  
(同友) 恩田博宣 古谷史旺  
坂口信昭 本田 崇  
小林正治 田中雅雄  
監事 山元俊仁(弁ク) 吉田精孝(同友)  
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 佐藤孝雄  
(同友) 田中武文 原田信市  
佐々木功 菊池新一  
米屋武志

総務委員会(担当 三澤正義)

委員長 秋山 修(同友)  
副委員長 真田修治(弁ク)  
委員 (弁ク) 西森浩司 川久保新一  
井上 一 保立浩一  
(同友) 中里浩一 桑原 稔  
神崎正浩 米山叔幸

政策委員会(担当 須山佐一)

委員長 伊藤 進(弁ク)



副委員長 仁科勝史(同友)  
 委 員 (弁ク) 仁平 孝 北村 仁  
 青木輝男 遠山 勉  
 (同友) 森哲 也 小林 保  
 五十嵐和壽 羽村行弘

企画委員会(担当 大橋 弘)  
 委 員 長 坂本光雄(同友)  
 副委員長 井上誠一(弁ク)  
 委 員 (弁ク) 紺野正幸 岡本啓三  
 開口宗昭 黒田 壽  
 (同友) 大貫和保 中村盛夫  
 中村和年 旦 武尚

研修委員会(担当 大橋 弘)  
 委 員 長 高月 猛(同友)  
 副委員長 井上 一(弁ク)  
 委 員 (弁ク) 中川裕幸 伊藤嘉昭  
 (同友) 本田 崇 山田智重

選挙対策委員会(担当 小池 晃)  
 委 員 長 木下實三(弁ク)  
 副委員長 中山伸治(同友)  
 委 員 (弁ク) 土橋 皓 渡邊一平  
 黒田博道 山口邦夫  
 (同友) 黒川弘朗 八鍬 昇  
 小倉正明 伊賀誠司

## 【平成9年度】

幹 事 長 木下實三(弁ク)  
 副幹事長 竹内 裕(同友)  
 (総務・10周年(主)担当)  
 田辺敏郎(同友)

(企画・研修・10周年担当)  
 永井義久(弁ク)  
 (政策・選対・10周年担当)

幹 事 (弁ク) 石川泰男 黒田博道  
 紺野正幸 須山佐一  
 中島 淳 三澤正義  
 (同友) 秋山 修 大塚明博  
 大貫和保 小倉正明  
 坂本光雄 中澤健二

監 事 丹羽宏之(弁ク) 羽村行弘(同友)  
 相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
 絹谷信雄 佐藤孝雄  
 (同友) 田中武文 原田信市

佐々木功 菊池新一  
 米屋武志 小池 晃

総務委員会(担当 竹内 裕)  
 委 員 長 川久保新一(弁ク)  
 副委員長 米山淑幸(同友)  
 委 員 (弁ク) 井上誠一 加藤和詳  
 黒田 壽 笹井浩毅  
 (同友) 秋山 修 桑原 稔  
 菊池 徹 中村信彦

政策委員会(担当 永井義久)  
 委 員 長 吉田精孝(同友)  
 副委員長 内田和男(弁ク)  
 委 員 (弁ク) 紺野正幸 布施行夫  
 保立浩一 三品岩男  
 (同友) 大塚明博 仁科勝史  
 小倉正明 飯田昭夫

企画委員会(担当 田辺敏郎)  
 委 員 長 西森浩司(弁ク)  
 副委員長 長内行雄(同友)  
 委 員 (弁ク) 青木輝男 石橋佳之夫  
 世良和信 山口邦夫  
 (同友) 坂本光雄 旦 武尚  
 小川眞一 松下 満

選挙対策委員会(担当 永井義久)  
 委 員 長 中山伸治(同友)  
 副委員長 伊藤 進(弁ク)  
 委 員 (弁ク) 黒田博道 齋藤美晴  
 須山佐一 渡邊喜平  
 (同友) 吉田芳春 黒川弘朗  
 神崎正浩 藤井稔也

研修委員会(担当 田辺敏郎)  
 委 員 長 石川泰男(弁ク)  
 副委員長 中里浩一(同友)  
 委 員 (弁ク) 井上 一 木村高明  
 塩田辰也 遠山 勉  
 (同友) 大塚明博 小林 保  
 西野茂美 大賀眞司

10周年記念事業実行委員会  
 (担当 竹内裕(主)、田辺敏郎、永井義久)  
 委 員 長 天野 泉(同友)  
 副委員長 (弁ク) 井上誠一 内田和男

委員 (同友) 須山佐一 遠山 勉  
油井 透  
(同友) 唐木浄治 積田輝正  
羽村行弘 吉田芳春  
(同友) 青木輝男 伊藤 進  
大島陽一 木村高久  
黒田博道 黒田 壽  
齋藤美晴 笹井浩毅  
下田容一郎 中島 淳  
中山 清 服部雅紀  
布施行夫 三澤正義  
山口邦夫  
(同友) 井澤 洵 大橋 弘  
大塚明博 菊池 徹  
坂本光雄 坂口信昭  
丸山英一 田中雅雄  
旦武 尚 中澤健二  
古谷史旺 山本彰司  
山田智重 吉田精孝  
米山淑幸

総務委員会(担当：須山佐一)  
委員長 小倉正明(同友)  
副委員長 渡邊一平(同友)  
委員 (同友) 清水敬一 中村盛夫  
旦 武尚 伊賀誠司  
(同友) 山口邦夫 井上誠一  
下田 茂 内田和男

政策委員会(担当：吉田精孝)  
委員長 中島 淳(同友)  
副委員長 小林正治(同友) 笹井浩毅(同友)  
委員 (同友) 青木輝夫 山口邦夫  
黒田 壽 大橋邦彦  
布施行夫 保立浩一  
半田昌男 阪本清孝  
藤野清規 原田 寛  
(同友) 伊賀誠司 小倉正明  
恩田博宣 唐木浄治  
小池 晃 清水敬一  
旦 武尚 原田信市  
古谷史旺 米山淑幸  
(監事兼任) (同友) 井澤 洵 中澤健二  
本田 崇 小川眞一  
五十嵐和壽  
(同友) 小田治親 伊藤 進  
仁平 孝 真田修治  
渡邊喜平 井上 一

#### 【平成10年度】

幹事長 田辺敏郎(同友)  
副幹事長 吉田精孝(同友)  
(政策、役員協議担当)  
木村高久(同友)  
(企画、研修担当)  
須山佐一(同友)  
(総務、渉外関係担当)

幹事 (同友) 小林正治 井澤 洵  
中澤健二 本田 崇  
小川眞一 五十嵐和壽  
(同友) 小田治親 伊藤 進  
仁平 孝 真田修治  
渡邊喜平 井上 一

監事 土橋 皓(同友) 大橋 弘(同友)

相談役 (同友) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 佐藤孝雄  
木下實三  
(同友) 田中武文 原田信市  
佐々木功 菊池新一  
米屋武志 小池 晃

企画委員会(担当：木村高久)  
委員長 大塚明博(同友)  
副委員長 小川利春(同友)  
委員 (同友) 長内行雄 小林 保  
坂本光雄 羽村行弘  
(同友) 石橋佳之夫 牧 哲郎  
渡部敏彦 西森浩司

役員協議委員会(担当：吉田精孝)  
委員長 守谷一雄(同友)  
副委員長 羽村行弘(同友)  
委員 (同友) 三澤正義 小田治親  
岡本啓三 高橋康夫  
木下實三 真田修治  
(同友) 古谷史旺 唐木浄治  
大貫和保 仁科勝史  
中山伸治

研修委員会(担当：木村高久)  
委員長 大貫和保(同友)

副委員長 柿本恭成(弁ク)  
委 員 (同友) 小川眞一 鈴木利明  
丸山英一 中村信彦  
(弁ク) 石川泰男 島田康男  
古谷 聡 堤 卓

再選挙に関する特別委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)  
副委員長 守谷一雄(弁ク) 羽村行弘(同友)  
委 員 (弁ク) 三澤正義 小田治親  
岡本啓三 高橋康夫  
真田修治  
(同友) 古谷史旺 唐木浄治  
大貫和保 仁科勝史  
中山伸治

【平成11年度】

[幹事会]

幹 事 長 須山佐一(弁ク)  
副幹事長 井澤 洵(同友)  
(企画、研修担当)  
小林正治(同友)  
(政策、役員協議担当)  
永井義久(弁ク)  
(総務、渉外関係担当)

幹 事(政策委員兼任)

(同友) 大橋 弘 黒川弘朗  
坂口信昭 森 哲也  
羽村行弘 吉田芳春  
(弁ク) 伊藤 進 小田治親  
仁平 孝 渡邊喜平  
川久保新一 内田和男

監 事 田中武文(同友) 土橋 皓(弁ク)

[相談役会]

相談役  
(幹事長経験者)

山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク)  
佐々木功(同友) 菊池新一(同友)  
原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク)  
米屋武志(同友) 佐藤孝雄(弁ク)  
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)  
田辺敏郎(同友)  
(弁理士会会長経験者)

田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
(弁理士会常議員会議長経験者)  
山元俊仁(弁ク) 天野 泉(同友)

総務委員会(担当 永井義久)

委 員 長 井上 一(弁ク)  
副委員長 菊池 徹(同友)  
委 員 (弁ク) 青木輝男 井上誠一  
尾関伸介 笹井浩毅  
(同友) 羽切正治 中村信彦  
山木義明 崔 秀喆

政策委員会(担当 小林正治)

委 員 長 小池 晃(同友)  
{9月以降：古谷 史旺(同友)}  
副委員長 大橋邦彦(弁ク)  
中澤健二(同友)

委員(幹事兼任)

(同友) 新井 全 飯田昭夫  
伊賀誠司 竹内 裕  
松下 満 吉田精孝  
(弁ク) 井上誠一 北村 仁  
黒田 壽 三澤正義  
山名正彦

企画委員会(担当 井澤 洵)

委 員 長 山口邦夫(弁ク)  
副委員長 杉本良夫(同友)  
委 員 (弁ク) 岡本啓三 亀谷美明  
布施行夫 渡部敏彦  
(同友) 本宮照久 神崎正浩  
高尾裕之 青山 仁

役員協議委員会(担当 小林正治)

委 員 長 原田信市(同友)  
副委員長 内田和男(弁ク)  
天野 泉(同友)  
委 員 (同友) 五十嵐和壽 小川眞一  
竹内 裕 中山伸治  
(弁ク) 川久保新一 木村高久  
紺野正幸 仁平 孝  
原田 寛 守谷一雄  
山川政樹

調整委員会(担当 永井義久)

委 員 長 古谷史旺(同友)  
副委員長 三澤正義(弁ク)

委員 (同友) 菊池新一 原田信市  
森 哲也 山本彰司  
(弁ク) 絹谷信雄 下田容一郎  
中山 清 守谷一雄

研修委員会(担当 井澤 洵)

委員長 保立浩一(弁ク)  
副委員長 五十嵐和壽(同友)  
委員 (弁ク) 堤 卓 長岡 重幸  
廣田浩一 油井 透  
(同友) 山田智重 中里浩一  
米山叔幸 藤井稔也

【平成12年度】

[幹事会]

幹事長 古谷史旺(同友)  
副幹事長 仁平 孝(弁ク)  
(政策、役員協議担当)  
真田修治(弁ク)  
(企画、研修担当)  
坂口信昭(同友)  
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 内田和男 井上 一  
中島 淳 渡邊一平  
土橋 皓 永井義久  
(同友) 大貫和保 大塚明博  
本田 崇 小倉正明  
羽村行弘 田中雅雄

監事 積田輝正(同友) 原田 寛(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)  
菊池新一(同友) 原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク)  
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)  
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)

総務委員会

委員長 坂本光雄(同友)  
副委員長 黒田 壽(弁ク)  
委員 (弁ク) 山本晃司 伊藤嘉昭  
尾川秀昭 石崎 剛  
(同友) 大塚明博 山本義明  
菊池 徹 崔 秀喆

政策委員会

委員長 木下實三(弁ク)  
副委員長 本田 崇(同友)  
世良和信(弁ク)  
委員 (同友) 竹内 裕 中澤健二  
秋山 修 小林正治  
吉田芳春 小倉正明  
松下 満 崔 秀喆  
(弁ク) 伊藤 進 齋藤美晴  
亀谷美明 川久保新一  
保立浩一 布施行夫

役員協議委員会

委員長 下田容一郎(弁ク)  
副委員長 小林正治(同友)  
井上 一(弁ク)  
委員 (同友) 原田信市 黒川弘朗  
高野昌俊 西野茂美  
本宮照久  
(弁ク) 永井義久 紺野正幸  
小田治親 青木輝夫  
北村 仁

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)  
副委員長 山本彰司(同友)  
委員 (弁ク) 絹谷信雄 木村高久  
守谷一雄 須山佐一  
(同友) 中山伸治 菊池新一  
森 哲也 天野 泉

研修委員会

委員長 山田智重(同友)  
副委員長 木村高久(弁ク)  
委員 (弁ク) 堤 卓 高島敏郎  
友野英三 坂本清孝  
(同友) 中村信彦 青山 仁  
高田大輔 高尾裕之

企画委員会

委員長 長内行雄(同友)  
副委員長 柿本恭成(弁ク)  
委員 (同友) 杉本良夫 伊賀誠司  
丸山英一 山崎高明  
(弁ク) 廣田浩一 佐藤年哉  
富澤 孝 金坂憲幸



# 【平成13年度】

幹事長 中島 淳(弁ク)  
副幹事長 本田 崇(同友)  
(政策、研修担当)  
山本彰司(同友)  
(企画、役員協議担当)  
伊藤 進(弁ク)  
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 中山 清 仁平 孝  
笹井浩毅 内田和男  
大橋邦彦 布施行夫  
(同友) 唐木浄治 丸山英一  
山崎高明 五十嵐和壽  
森 哲也 中山伸治

監事 黒川弘朗(同友) 富田和子(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)  
菊池新一(同友) 原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)  
佐藤孝雄(弁ク) 小池 晃(同友)  
木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)  
須山佐一(弁ク) 古谷史旺(同友)

## 総務委員会

委員長 保立浩一(弁ク)  
副委員長 中村盛夫(同友)  
委員 (弁ク) 尾川秀昭 阪本清孝  
廣田浩一 山本晃司  
(同友) 中里浩一 松下 満  
藤井稔也 山木義明

## 政策委員会

委員長 磯野道造(同友)  
副委員長 齋藤美晴(弁ク) 羽村行弘(同友)  
委員 (弁ク) 柿本邦夫 黒田勇治  
仁平 孝 平山一幸  
三谷 恵 三澤正義  
山川茂樹  
(同友) 五十嵐和壽 坂口信昭  
竹内 裕 田辺敏郎  
中澤健二 森 哲也

## 役員協議委員会

委員長 吉田精孝(同友)  
副委員長 守谷一雄(弁ク) 吉田芳春(同友)  
委員 (弁ク) 小田治親 柿本恭成  
北村 仁 木下實三  
紺野正幸  
(同友) 内藤嘉昭 佐々木功  
古谷史旺 仁科勝史  
長内行雄

## 調整委員会

委員長 中澤健二(同友)  
副委員長 木村高久(弁ク)  
委員 (弁ク) 須山佐一 真田修治  
永井義久 渡邊一平  
(同友) 天野 泉 小林正治  
中畑 孝 志賀正武

## 研修委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)  
副委員長 菊池 徹(同友)  
委員 (弁ク) 石川泰男 堀 城之  
富澤 孝 木村高明  
(同友) 山田智重 杉本良夫  
旦 武尚 青山 仁

## 企画委員会

委員長 黒田 壽(弁ク)  
副委員長 川俣静子(同友)  
委員 (弁ク) 金坂憲幸 佐藤年哉  
友野英三 岡本啓三  
(同友) 高野昌俊 竹山宏明  
崔 秀喆 谷口 登

# 【平成14年度】

幹事長 小林正治(同友)  
副幹事長 森 哲也(同友)  
(総務、調整、渉外関係担当)  
内田和男(弁ク)  
(企画、研修担当)  
川久保新一(弁ク)  
(政策、役員協議担当)

幹事 (弁ク) 山川政樹 牧 哲郎  
青木輝夫 布施行夫

亀谷美明 保立浩一  
(同友) 中山伸治 唐木浄治  
清水敬一 山本義明  
白崎真二 宮坂 徹

仁平 孝 柿本恭成  
黒田 壽  
(同友) 原田信市 黒川弘朗  
山本彰司 古谷史旺  
内藤嘉昭

監 事 中山 清(弁ク)仁科勝史(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)  
菊池新一(同友)原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)  
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)  
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)  
須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友)  
中島 淳(弁ク)

総務委員会  
委 員 長 五十嵐和壽(同友)  
副委員長 中川裕幸(弁ク)  
委 員 (弁ク) 柿本邦夫 山本晃司  
廣田浩一 佐原雅史  
(同友) 中村盛夫 松田克治  
秋元芳雄 長内行雄

企画委員会  
委 員 長 川俣静子(同友)  
副委員長 山口義雄(弁ク)  
委 員 (弁ク) 大淵美千栄 坂本清孝  
金坂憲幸 金井英幸  
(同友) 竹山宏明 崔 秀喆  
広瀬 一 谷口 登

政策委員会  
委 員 長 永井義久(弁ク)  
副委員長 坂口信昭(同友)  
委 員 (弁ク) 伊藤 進 木下實三  
齋藤美晴 井上 一  
山川茂樹 友野英三  
(同友) 田辺敏郎 中澤健二  
本田 崇 大塚明博  
高野昌俊 小倉正明

役員協議委員会  
委 員 長 伊藤 進(弁ク)  
副委員長 中村盛夫(同友)  
委 員 (弁ク) 下田容一郎 紺野正幸

研修委員会  
委 員 長 長内行雄(同友)  
副委員長 世良和信(弁ク)  
委 員 (弁ク) 鈴木 知 山本 尚  
美濃好美 塩野谷英城  
(同友) 五十嵐和壽 伊賀誠司  
丸山英一 杉本良夫

調整委員会  
委 員 長 須山佐一(弁ク)  
副委員長 磯野道造(同友)  
委 員 (弁ク) 中山 清 絹谷信雄  
木村高久 中島 淳  
(同友) 佐々木功 中村政美  
積田輝正 大貫和保

#### 【平成15年度】

幹 事 長 伊藤 進(弁ク)  
副幹事長 中澤健二(同友)  
(政策、調整担当)  
飯田昭夫(同友)  
(企画、研修担当)  
渡邊一平(弁ク)  
(総務、役員協議、渉外担当)

幹 事 (同友) 中山伸治 大塚明博  
中村盛夫 伊賀誠司  
旦 武尚 高尾裕之  
(弁ク) 牧 哲郎 山崎輝緒  
真田修治 北村 仁  
井上誠一 阪本清孝

監 事 松田克治(同友)木村高久(弁ク)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)  
菊池新一(同友)原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)  
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)  
 須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)  
 小林正治(同友)

(弁ク) 鈴木健治 佐原雅史  
 西康二郎 田中ひろみ

#### 総務委員会

委員長 齋藤美晴(弁ク)  
 副委員長 松下 満(同友)  
 委員 (同友) 神崎正浩 花村 太  
 粕川敏夫 井澤 幹  
 (弁ク) 鈴木 知 中川裕幸  
 柿本邦夫 石崎 剛

#### 企画委員会

委員長 本宮照久(同友)  
 副委員長 水野 清(弁ク)  
 委員 (同友) 長内行雄 新井 全  
 小島 猛 西 和哉  
 (弁ク) 内田和男 小川利春  
 金坂憲幸 美濃好美

#### 政策委員会

委員長 吉田芳春(同友)  
 副委員長 永井義久(弁ク)  
 委員 (同友) 磯野道造 小池 晃  
 坂口信昭 原田信市  
 竹内 裕 本田 崇  
 旦 武尚 青山 仁  
 (弁ク) 大橋邦彦 中島 淳  
 三澤正義 井上 一  
 保立浩一 服部雅紀  
 今井孝弘

#### 役員協議委員会

委員長 永井義久(弁ク)  
 副委員長 杉本良夫(同友)  
 黒田 壽(弁ク)  
 委員 (同友) 天野 泉 大塚明博  
 中村盛夫 松原 等  
 (弁ク) 仁平 孝 川久保新一  
 布施行夫 山川茂樹  
 山本晃司

#### 研修委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)  
 副委員長 大賀眞司(同友)  
 委員 (同友) 林 信之 高野昌俊  
 石川 憲 中原文彦

#### 調整委員会

委員長 天野 泉(同友)  
 副委員長 中山 清(弁ク)  
 委員 (同友) 吉田精孝 本田 崇  
 山本彰司 磯野道造  
 (弁ク) 絹谷信雄 土橋 皓  
 紺野正幸 小田治親

#### 【平成16年度】

幹事長 磯野道造(同友)  
 副幹事長 須山佐一(弁ク)  
 (研修、企画担当)  
 永井義久(弁ク)  
 (政策、調整担当)  
 五十嵐和壽(同友)  
 (総務、役員協議、渉外担当)

幹事 (弁ク) 保立浩一 山川茂樹  
 内田和男 中川裕幸  
 小川利春 笹井浩毅  
 (同友) 竹内 裕 清水 修  
 大貫和保 神崎正浩  
 伊賀誠司 石川 憲

監事 小田治親(弁ク)大塚明博(同友)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)  
 古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)  
 菊池新一(同友)原田信市(同友)  
 絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)  
 佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)  
 木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)  
 須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)  
 小林正治(同友)伊藤 進(弁ク)

#### 総務委員会

委員長 米山淑幸(同友)  
 副委員長 山川茂樹(会計担当)(弁ク)  
 委員 (弁ク) 井上誠一 美濃好美  
 茅野直勝 三谷 恵  
 (同友) 花村 太 粕川敏夫  
 神崎正浩 小島 猛

## 企画委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)  
副委員長 新井 全(同友)  
委員 (弁ク) 阪本清孝 北村 仁  
阿仁屋節雄 柿本邦夫  
(同友) 松下 満 西 和哉  
旦 武尚 佐藤 陽

## 政策委員会

委員長 三澤正義(弁ク)  
副委員長 飯田昭夫(同友)  
委員 (弁ク) 亀谷美明 布施行夫  
保立浩一 山川茂樹  
伊藤 進 渡邊一平  
(同友) 長内行雄 坂口信昭  
中澤健二 坂本光雄  
中村盛夫 成瀬重雄

## 役員協議委員会

委員長 中村盛夫(同友)  
副委員長 土橋 皓(弁ク)  
委員 (弁ク) 保立浩一 石川泰男  
平山一幸 笹井浩毅  
渡邊一平  
(同友) 中里浩一 仁科勝史  
杉本良夫 宮坂 徹

## 研修委員会

委員長 林 信之(同友)  
副委員長 中川裕幸(弁ク)  
委員 (弁ク) 鈴木 知 永岡重幸  
鈴木 敦 岡田希子  
(同友) 中村信彦 山田智重  
大賀真司 井澤 幹

## 調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)  
副委員長 本田 崇(同友)  
委員 (弁ク) 紺野正幸 中山 清  
紺谷信雄 山川政樹  
(同友) 小池 晃 吉田精孝  
中山伸治 大橋 弘

## 【平成17年度】

幹事長 永井義久(弁ク)  
副幹事長 吉田芳春(同友)  
(研修、政策、  
役員協議(後期)担当)  
小川真一(同友)  
(企画、  
役員協議(前期)担当)  
笹井浩毅(弁ク)  
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 伊賀誠司  
長内行雄 坂口信昭  
坂本光雄 中村盛夫  
(弁ク) 鈴木 知 堤 卓  
中川裕幸 中山 清  
布施行夫 山本晃司

監事 大塚明博(同友) 小田治親(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)  
菊池新一(同友) 原田信市(同友)  
紺谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)  
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)  
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)  
中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)  
伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)

## 総務委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)  
副委員長 山崎高明(同友)  
委員 (同友) 松下 満 杉本良夫  
宮坂 徹 山田武史  
安彦 元 関 昌充  
(弁ク) 井上誠一 柿本邦夫  
廣田浩一 三谷 恵

## 企画委員会

委員長 高尾裕之(同友)  
副委員長 山口義男(弁ク)  
委員 (弁ク) 阿仁屋節雄 井上誠一  
(同友) 新井 全 杉本良夫  
吉村俊一



政策委員会

委員長 川久保新一(弁ク)  
副委員長 坂本光雄(同友)  
委員 (同友) 坂口信昭 中村盛夫  
成瀬重雄  
(弁ク) 木下實三 中島 淳  
井上 一 黒田 壽  
山川茂樹 田中ひろみ

役員協議委員会

委員長 長内行雄(同友)  
副委員長 紺野正幸(弁ク)  
副委員長 菊池 徹(同友)  
委員 (弁ク) 水野 清 服部雅紀  
山川茂樹 山本晃司  
(同友) 中澤健二 仁科勝史  
伊賀誠司 崔 秀喆  
小島 猛

研修委員会

委員長 小川利春(弁ク)  
副委員長 林 信之(同友)  
委員 (同友) 青山 仁  
(弁ク) 北村 仁 永岡重幸  
鈴木 敦

能力担保専門委員

(同友) 山本彰司 五十嵐和壽  
本宮照久 中村信彦  
(弁ク) 原田 寛 尾川秀昭  
服部雅紀 河部秀男  
赤羽良之

調整委員会

委員長 本田 崇(同友)  
副委員長 渡邊一平(弁ク)  
委員 (弁ク) 下田容一郎 川久保新一  
(同友) 吉田精孝 丸山英一

【平成18年度】

幹事長 吉田芳春(同友)  
副幹事長 三澤正義(弁ク)  
(役員協議、政策担当)  
長内行雄(同友)  
(総務、調整担当)  
井上誠一(弁ク)

(研修、企画担当)

幹事 (弁ク) 服部雅紀 金坂憲幸  
川久保新一 小川利春  
永岡重幸 美濃好美  
(同友) 磯野道造 坂口信昭  
小林正治 五十嵐和壽  
小林 保 杉本良夫

監事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)  
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)  
菊池新一(同友) 原田信市(同友)  
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)  
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)  
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)  
中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)  
伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)  
永井義久(弁ク)

総務委員会

委員長 山崎高明(同友)  
副委員長 美濃好美(弁ク)  
委員 (弁ク) 今井孝弘 柿本邦夫  
(同友) 山田武史 宮坂 徹  
松下 満 杉本良夫  
安彦 元 関 昌充

役員協議委員会

委員長 須山佐一(弁ク)  
副委員長 磯野道造(同友) 紺野正幸(弁ク)  
委員 (同友) 井澤 幹 菊池 徹  
小島 猛 藤浪一郎  
堂本 環 古川友美  
丸山英一  
(弁ク) 小川利春 金坂憲幸  
塩野谷英城 布施行夫  
山口義雄 山本晃司

研修委員会

委員長 成瀬重雄(同友)  
副委員長 布施行夫(弁ク)  
委員 (弁ク) 小川利春 長谷川靖  
三谷 恵  
(同友) 林 信之 中村信彦

山田 武史

企画委員会  
委員長 永岡重幸(弁ク)  
副委員長 粕川敏夫(同友)  
(同友) 松下 満 花村 太  
中原文彦  
(弁ク) 柿本邦夫 阿仁屋節雄  
山口義雄

政策委員会  
委員長 崔 秀喆(同友)  
副委員長 廣瀬隆行(弁ク)  
委員 (弁ク) 保立浩一 笹井浩毅  
鈴木喜三郎 田中ひろみ  
井上 一 今井孝弘  
岡田希子 奥田 誠  
金坂憲幸 上條由紀子  
茅野直勝 川久保新一  
木下實三 小林 浩  
佐成重範 永井義久  
永岡重幸 服部雅紀  
美濃好美 山本晃司  
中島 淳 山川茂樹  
(同友) 丸山英一 小林 保  
小林正治 坂本光雄  
本宮照久 菊池 徹  
杉本良夫 坂口信昭

調整委員会  
委員長 永井義久(弁ク)  
副委員長 山本彰司(同友)  
委員 (同友) 吉田精孝 丸山英一  
(弁ク) 下田容一郎 川久保新一

#### 【平成19年度】

幹事長 川久保新一(弁ク)  
副幹事長 天野 泉(同友)  
(20周年記念事業担当)  
井上 一(弁ク)  
(総務、政策、調整担当)  
丸山英一(同友)  
(企画、役員協議、  
研修担当)

幹事 (同友) 坂口信昭 五十嵐和壽  
坂本光雄 伊賀誠司  
杉本良夫 中原文彦  
(弁ク) 小川利春 井上誠一  
塩野谷英城 永岡重幸  
服部雅紀 三澤正義

監事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功  
菊池新一 原田信市  
米屋武志 小池 晃  
田辺敏郎 小林正治  
磯野道造 吉田芳春  
(弁ク) 伊藤 進 木下實三  
絹谷信雄 須山佐一  
永井義久 中島 淳  
古谷 馨 山川政樹

総務委員会  
委員長 中川裕幸(弁ク)  
副委員長 中原文彦(同友)  
委員 (同友) 旦 武尚 花村 太  
小島 猛  
(弁ク) 奥川勝利 茅野直勝

政策委員会  
委員長 山本晃司(弁ク)  
副委員長 本宮照久(同友)  
委員 (同友) 坂本光雄 田中雅雄  
崔 秀喆 山田武史  
石川 憲  
(弁ク) 保立浩一 廣瀬隆行  
奥 和幸 住吉勝彦  
田中ひろみ

役員協議委員会  
委員長 小川眞一(同友)  
副委員長 亀谷美明(弁ク)  
委員 (弁ク) 平山一幸 布施行夫  
柿本邦夫  
(同友) 伊賀誠司 粕川敏夫  
高尾裕之

調整委員会  
委員長 渡邊一平(弁ク)

副委員長 山本彰司(同友)  
委 員 選任なし

中原文彦 萼 経夫  
松下 満 山木義明

研修委員会  
委 員 長 米山淑幸(同友)  
副委員長 今井孝弘(弁ク)  
委 員 (弁ク) 絹谷晴久 須山英明  
長谷川靖  
(同友) 中村信彦 三島広規  
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク) 坂口信昭(同友)

相 談 役 (弁ク) 伊藤 進 川久保新一  
木下實三 絹谷信雄  
須山佐一 永井義久  
中島 淳 古谷 馨  
山川政樹  
(同友) 磯野道造 菊池新一  
小池 晃 小林正治  
佐々木功 田中武文  
田辺敏郎 原田信市  
吉田芳春 米屋武志

企画委員会  
委 員 長 菊池 徹(同友)  
副委員長 山本寿武(弁ク)  
委 員 (弁ク) 阿仁屋節雄 奥田 誠  
鈴木喜三郎 山口義雄  
(同友) 青山 仁 高尾裕之  
本宮照久

総務委員会  
委 員 長 中原文彦(同友)  
副委員長 住吉勝彦(弁ク)  
委 員 (弁ク) 鈴木 知 柿本邦夫  
小國泰弘  
(同友) 菊池 徹 宮坂 徹  
山田武史

20周年記念事業実行委員会  
委 員 長 永井義久(弁ク)  
副委員長 伊賀誠司(同友)  
部 会 長 〈式 典〉黒田 壽(弁ク)  
部 会 長 〈祝賀会〉小川眞一(同友)  
委 員 (同友) 伊賀誠司 新井 全  
中村盛夫 崔 秀喆  
粉川敏夫 杉本良夫  
(弁ク) 茅野直勝 原田 寛  
山口邦夫 中川裕幸  
伊藤信和 柿本邦夫  
鈴木 知

政策委員会  
委 員 長 住吉勝彦(弁ク)  
副委員長 本田 淳(同友)  
委 員 (同友) 森 哲也 天野 泉  
竹内 裕 小池 晃  
古谷史旺 吉田芳春  
丸山英一 山田武史  
長内行雄 笹川 拓  
関 昌充 笹野拓馬  
(弁ク) 世良和信 川久保新一  
井上 一 金坂憲幸  
山本寿武 奥田 誠  
伊藤信和 今井孝弘  
上條由紀子 奥 和幸  
恒川圭志 及川 周  
國井久美子 森岡嗣象  
高橋史保

#### 【平成20年度】

幹 事 長 小川眞一(同友)  
副幹事長 亀谷美明(弁ク)  
(政策、役員協議担当)  
中川裕幸(弁ク)  
(研修、企画担当)  
伊賀誠司(同友)  
(総務、調整担当)

幹 事 (弁ク) 金坂憲幸 塩野谷英城  
鈴木 知 永井義久  
永岡重幸 三澤正義  
(同友) 新井 全 坂本光雄

企画委員会  
委 員 長 長内行雄(同友)  
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)  
委 員 (弁ク) 加藤和孝 村井弘実

(同友) 菊池 徹 谷山尚史  
井澤 幹

研修委員会  
委員長 奥 和幸(弁ク)  
副委員長 大塚明博(同友)  
委員 (弁ク) 今井孝弘 加藤政之  
石戸孝則

調整委員会  
委員長 山本彰司(同友)  
副委員長 三澤正義(弁ク)  
委員 (弁ク) 下田容一郎 伊藤 進  
(同友) 古谷史旺 丸山英一

役員協議委員会  
委員長 保立浩一(弁ク)  
副委員長 吉田芳春(同友)

#### 【平成21年度】

幹事長 渡邊一平(弁ク)  
副幹事長 本宮照久(同友)  
(企画、研修担当)  
山崎高明(同友)  
(政策、役員協議担当)  
黒田 壽(弁ク)  
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 坂本光雄  
松下 満 山木義明  
菊池 徹 大塚明博  
(弁ク) 小川利春 井上誠一  
塩野谷英城 今井孝弘  
山川茂樹 山口義雄

監事 坂口信昭(同友)  
真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功  
菊池新一 原田信市  
米屋武志 小池 晃  
田辺敏郎 古谷史旺  
小林正治 磯野道造  
吉田芳春 小川眞一  
(弁ク) 伊藤 進 川久保新一

木下實三 絹谷信雄  
須山佐一 永井義久  
中島 淳 古谷 馨  
山川政樹

総務委員会  
委員長 永岡重幸(弁ク)  
副委員長 吉村俊一(同友)  
委員 (同友) 青山 仁 笹川 拓  
関 昌充  
(弁ク) 山川茂樹 柿本邦夫  
奥 和幸

政策委員会  
委員長 森 哲也(同友)  
副委員長 山本晃司(弁ク)  
委員 (弁ク) 伊藤 進 井上誠一  
及川 周 奥 和幸  
川久保新一 川守田光紀  
國井久美子 住吉勝彦  
世良和信 永井義久  
永岡重幸 山川茂樹  
梶 俊和  
(同友) 天野 泉 小川眞一  
小池 晃 笹川 拓  
笹野拓馬 関 昌充  
竹内 裕 恒川圭志  
古谷史旺 本田 淳  
丸山英一 山崎高明  
山田武史 吉田芳春

役員協議委員会  
委員長 吉田芳春(同友)  
副委員長 保立浩一(弁ク)

調整委員会  
委員長 三澤正義(弁ク)  
副委員長 山本彰司(同友)  
委員 (同友) 天野 泉 古谷史旺  
(弁ク) 伊藤 進 下田容一郎

研修委員会  
委員長 中原文彦(同友)  
副委員長 鈴木 敦(弁ク)  
委員 (弁ク) 住吉勝彦  
(同友) 山田武史



企画委員会  
 委員長 梶 俊和(弁ク)  
 副委員長 中原文彦(同友)  
 委員 (同友) 井澤 幹 本田 淳  
 (弁ク) 山口義雄 瀧澤匡則

(弁ク) 伊藤 進 内田和男  
 永井義久 川久保新一  
 井上誠一 永岡重幸  
 奥 和幸 住吉勝彦  
 梶 俊和

## 【平成22年度】

幹事長 亀谷美明(弁ク)  
 副幹事長 田中雅雄(同友)  
 山川茂樹(弁ク)  
 吉村俊一(同友)

幹事 (同友) 大塚明博 坂本光雄  
 山木義明 松下 満  
 新井 全 菊池 徹  
 (弁ク) 小川利春 岡本啓三  
 井上誠一 山本晃司  
 永岡重幸 今井孝弘

監事 坂口信昭(同友) 齋藤美晴(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功  
 磯野道造 菊池新一  
 小池 晃 田辺敏郎  
 古谷史旺 小林正治  
 吉田芳春 小川眞一  
 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
 絹谷信雄 伊藤 進  
 須山佐一 中島 淳  
 木下實三 永井義久  
 川久保新一 渡邊一平

総務委員会  
 委員長 住吉勝彦(弁ク)  
 副委員長 本田 淳(同友)  
 委員 松本一騎(弁ク)  
 長野みか(弁ク)

政策委員会  
 委員長 山本晃司(弁ク)  
 副委員長 藤井稔也(同友)  
 (同友) 天野 泉 竹内 裕  
 小池 晃 古谷史旺  
 吉田芳春 丸山英一  
 山田武史 本田 淳

## 役員協議委員会

委員長 丸山英一(同友) (4/1～)  
 副委員長 鈴木 知(弁ク)  
 委員 (弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久  
 潮 太郎  
 (同友) 中村盛夫 坂本光雄  
 藤井稔也 林 信之  
 笹川 拓 本田 淳

## 調整委員会

委員長 田辺敏郎(同友)  
 副委員長 伊藤 進(弁ク)  
 委員 山本彰司(同友)

## 研修委員会

委員長 今井孝弘(弁ク)  
 副委員長 山田武史(同友)  
 委員 中原文彦(同友)

## 企画委員会

委員長 佐尾山和彦(同友)  
 副委員長 伊藤信和(弁ク)  
 委員 (弁ク) 山本寿武 奥 和幸  
 (同友) 菊池 徹 古川友美

## 【平成23年度】

選任なし

## 【平成24年度】

幹事長 古谷史旺(同友)  
 副幹事長 中川裕幸(弁ク)  
 山川茂樹(弁ク)  
 小川眞一(同友)

幹事 (弁ク) 柿本邦夫 塩野谷英城  
 絹谷晴久 木戸基文  
 (同友) 大塚明博 坂本光雄  
 山木義明 松下 満

新井 全 菊池 徹

吉田芳春 小川眞一

監 事 齋藤美晴(弁ク) 坂口信昭(同友)

相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一  
(同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一

総務委員会

委 員 長 中原文彦(同友)  
副委員長 小國泰弘(弁ク)

その他の委員会については、立ち上げず

#### 【平成25年度】

幹 事 長 丸山英一(同友)  
副幹事長 中川裕幸(弁ク)  
山本晃司(弁ク)  
吉村俊一(同友)

幹 事 (弁ク) 木下實三 井上誠一  
岸本達人 永岡重幸  
滝澤匡則 野崎俊剛  
(同友) 田中雅雄 山崎高明  
山田武史 中原文彦  
安彦 元 井澤 幹

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一  
(同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治

総務委員会

委 員 長 安彦 元(同友)  
副委員長 滝澤匡則(弁ク)

政策委員会

委 員 長 永岡重幸(弁ク)  
副委員長 山崎高明(同友)

役員協議委員会

委 員 長 井澤 幹(同友)  
副委員長 井上誠一(弁ク)

調整委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)  
副委員長 田中雅雄(同友)

研修委員会

委 員 長 野崎俊剛(弁ク)  
副委員長 山田武史(同友)

企画委員会

委 員 長 中原文彦(同友)  
副委員長 岸本達人(弁ク)

#### 【平成26年度】

幹 事 長 山川茂樹(弁ク)  
副幹事長 青山 仁(同友)  
(企画委員会、研修委員会)  
井澤 幹(同友)  
(役員協議委員会、調整委員会)  
鈴木 知(弁ク)  
(総務委員会、政策委員会)

幹 事 (同友) 丸山英一 山崎高明  
笹川 拓 茜ヶ久保公二  
岩田克子 本田 淳  
(弁ク) 世良和信 渡邊一平  
岸本達人 小國泰弘  
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 佐々木功

磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平

総務委員会  
委員 長 塩野谷英城(弁ク)  
副委員長 本田 淳(同友)  
委員 (同友) 笹野拓馬 石井理太  
(弁ク) 柿本邦夫 飛田高介

政策委員会  
委員 長 山崎高明(同友)  
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)  
委員 (弁ク) 伊藤 進 永井義久  
渡邊一平 岸本達人  
岡田希子 永岡重幸  
小國泰弘 今堀克彦  
須山英明 奥川勝利  
内野則彰 岩田耕一  
富澤 正 野崎俊剛  
(同友) 竹内 裕 仁科勝史  
吉田芳春 長内行雄  
伊賀誠司 丸山英一  
山田武史 笹川 拓  
恒川圭志 石川 憲  
井澤 幹 笹野拓馬  
茂木康彦 大和田昭彦

企画委員会  
委員 長 小田原敬一(弁ク)  
副委員長 岩田克子(同友)  
委員 (同友) 仲村圭代 駒場大視  
(弁ク) 奥川勝利 潮 太郎

役員協議委員会  
委員 長 永岡重幸(弁ク)  
副委員長 茜ヶ久保公二(同友)  
委員 (同友) 田辺 恵 藤浪一郎  
徳増あゆみ 飯野智史

須田守一  
(弁ク) 船津暢宏 小國泰弘  
美川公司 梶 俊和

調整委員会  
委員 長 丸山英一(同友)  
副委員長 伊藤 進(弁ク)  
委員 (弁ク) 船津暢宏 山本晃司  
(同友) 田中雅雄 粕川敏夫

研修委員会  
委員 長 笹川 拓(同友)  
副委員長 三輪浩誉(弁ク)  
委員 (弁ク) 松本一騎  
(同友) 山田武史

【平成 27 年度】

幹事 長 山本晃司(弁ク)  
副幹事長 永岡重幸(弁ク)  
(企画委員会、研修委員会)  
森 俊秀(同友)  
(総務委員会、政策委員会)  
石川 憲(同友)  
(役員協議委員会、調整委員会)

幹事 (同友) 小川眞一 山田武史  
吉村俊一 安彦 元  
本田 淳 大橋剛之  
(弁ク) 世良和信 渡邊一平  
岸本達人 小國泰弘  
梶 俊和 絹谷晴久

監事 真田修治(弁ク) 坂本光雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平

委員会

総務委員会

委員長 大橋剛之(同友)  
副委員長 飛田高介(弁ク)  
委員 (同友) 茂木康彦 陸名智之  
(弁ク) 柿本邦夫 佐々木まどか

政策委員会

委員長 三輪浩誉(弁ク)  
副委員長 本田 淳(同友)  
委員 (同友) 坂口信昭 飯田昭夫  
中村盛夫 伊賀誠司  
関 昌充 井澤 幹  
(弁ク) 伊藤 進 濱田百合子  
松本一騎 熊井 寛  
野崎俊剛 美川公司

企画委員会

委員長 安彦 元(同友)  
副委員長 奥 和幸(弁ク)  
委員 (同友) 徳増あゆみ 駒場大視  
(弁ク) 柿本邦夫 永井 望

役員協議委員会

委員長 吉村俊一(同友)  
副委員長 梶 俊和(弁ク)  
委員 丸山英一(同友)

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)  
副委員長 小川眞一(同友)  
委員 (同友) 田辺敏郎  
(弁ク) 船津暢宏 黒田 壽  
瀧澤匡則

研修委員会

委員長 野崎俊剛(弁ク)  
副委員長 山田武史(同友)  
委員 (同友) 笹川 拓  
(弁ク) 下田憲雅

幹事長 石川 憲(同友)

副幹事長 船津暢宏(弁ク)  
(役員協議、調整)  
梶 俊和(弁ク)  
(政策、企画、研修)  
笹野拓馬(同友)  
(総務、30 周年準備)

幹事 (同友) 小林 保 長内行雄  
小川眞一 山田武史  
本田 淳 徳増あゆみ  
(弁ク) 永井義久 中川裕幸  
山本晃司 岸本達人  
須山英明 瀧澤匡則

監事 中村盛夫(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功  
磯野道造 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)  
副委員長 笹川 拓(同友)  
委員 (同友) 松本直子  
(弁ク) 佐々木まどか 高橋 堅

政策委員会

委員長 小林 保(同友)  
副委員長 小田原敬一(弁ク)  
委員 (同友) 古谷史旺 関 昌充  
井澤 幹 田辺 恵  
高下雅弘



(弁ク) 伊藤 進 山本晃司  
岡田希子 永岡重幸  
小國泰弘 今堀克彦  
須山英明 奥川勝利  
岩田耕一 富澤 正

幹 事 (同友) 小林 保 小川眞一  
丸山英一 吉村俊一  
石川 憲 松本直子  
(弁ク) 永井義久 船津暢宏  
中川裕幸 岸本達人  
瀧津匡則 熊井 寛

#### 企画委員会

委 員 長 須山英明(弁ク)  
副委員長 吉田倫太郎(同友)  
委 員 (同友) 本田 淳 川崎ひかり  
(弁ク) 小國泰弘 下田憲雅

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 石川 憲  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
山川茂樹 山本晃司

#### 役員協議委員会

委 員 長 山川茂樹(弁ク)  
副委員長 井澤 幹(同友)  
委 員 (同友) 安彦 元 山下幸彦  
(弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久

#### 調整委員会

委 員 長 長内行雄(同友)  
副委員長 山川茂樹(弁ク)  
委 員 (同友) 小川眞一 吉村俊一  
(弁ク) 岸本達人 瀧澤匡則

#### 委員会

##### 総務委員会

委 員 長 小野友彰(同友)  
副委員長 今堀克彦(弁ク)  
委 員 (同友) 笹野拓馬  
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

#### 研修委員会

委 員 長 山田武史(同友)  
副委員長 飛田高介(弁ク)  
委 員 (同友) 横田香澄  
(弁ク) 柿本邦夫

#### 政策委員会

委 員 長 船津暢宏(弁ク)  
副委員長 古谷史旺(同友)  
委 員 (同友) 坂口信昭 伊賀誠司  
関 昌充 田辺 恵  
茂木康彦 松本直子  
(弁ク) 伊藤 進 中島 淳  
永井義久 山本晃司  
永岡重幸 今堀克彦  
三輪浩誉 須山英明  
奥川勝利 小田原敬一  
富澤 正

#### 30 周年記念事業準備委員会

委 員 長 粕川敏夫(同友)  
副委員長 永井義久(弁ク)  
委 員 (同友) 古谷史旺  
(弁ク) 永岡重幸

### 【平成 29 年度】

幹 事 長 粕川敏夫(同友)

副幹事長 塩野谷英城(弁ク)

(政策、役員協議、調整)  
絹谷晴久(弁ク)  
(企画、研修)  
笹川 拓(同友)  
(総務、30 周年記念事業)

#### 企画委員会

委 員 長 笹野拓馬(同友)  
副委員長 熊井 寛(弁ク)  
委 員 (同友) 山下幸彦 川崎ひかり  
(弁ク) 権正英樹 瀧澤匡則

役員協議委員会

委員長 石川 憲(同友)  
副委員長 岸本達人(弁ク)  
委員 (同友) 藤井稔也 藤浪一郎  
(弁ク) 大淵美千栄 小林 功

調整委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)  
副委員長 丸山英一(同友)  
委員 (同友) 小川眞一 高下雅弘  
(弁ク) 岸本達人

研修委員会

委員長 伊藤信和(弁ク)  
副委員長 横田香澄(同友)  
委員 (同友) 徳増あゆみ  
(弁ク) 柿本邦夫 中川裕幸

30 周年記念事業実行委員会

委員長 青山 仁(同友)  
副委員長 永井義久(弁ク)  
式典部会長 吉村俊一(同友)  
祝賀会部会長 山川茂樹(弁ク)  
記念誌部会長 松本直子(同友)  
委員 (同友) 古谷史旺 小野友彰  
田辺 恵 岩田克子  
笹野拓馬 徳増あゆみ  
坂口吉之助 保屋野光繁  
(弁ク) 永岡重幸 今堀克彦  
三苦貴織 新井 宏  
橘 祐史 美川公司  
夏目洋子 尾崎祐朗  
張 華威

幹 事 (同友) 林 實 小林 保  
小川眞一 丸山英一  
笹野拓馬 松本直子  
(弁ク) 中川裕幸 山本晃司  
伊藤信和 今堀克彦  
瀧澤匡則 潮 太朗

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 粕川敏夫  
石川 憲  
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 潮 太朗(弁ク)  
副委員長 松本直子(同友)  
委員 (同友) 河合利恵  
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 伊賀誠司(同友)  
副委員長 橘 和之(弁ク)  
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保  
長内行雄 小川眞一  
丸山英一 山崎高明  
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸  
山川茂樹 岸本達人  
塩野谷英城 瀧澤匡則

企画委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)  
副委員長 横田香澄(同友)  
委員 (同友) 吉村俊一 高井智之  
(弁ク) 絹谷晴久 加藤和孝  
小田原敬一

【平成 30 年度】

幹 事 長 鈴木 知(弁ク)

副幹事長 菊池 徹(同友)  
(調整、研修)

関 昌充(同友)  
(政策、役員協議)

奥川勝利(弁ク)  
(総務、企画)

役員協議委員会

委員長 山本晃司(弁ク)  
副委員長 藤浪一郎(同友) 吉村俊一(同友)  
委員 (同友) 藤井稔也 井澤 幹  
関 大祐 高下雅弘  
吉田倫太郎  
(弁ク) 今堀克彦 絹谷晴久

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹  
絹谷信雄 伊藤 進  
須山佐一 中島 淳  
木下實三 永井義久  
川久保新一 渡邊一平  
鈴木 知 山川茂樹  
山本晃司

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)  
副委員長 山本晃司(弁ク)  
委員 (同友) 小川眞一  
(弁ク) 中川裕幸 瀧澤匡則

委員会

総務委員会  
委員長 笹野拓馬(同友)  
副委員長 三苫貴織(弁ク)  
委員 (同友) 山下幸彦 関 大祐  
(弁ク) 村野直仁 武田侑希

研修委員会

委員長 谷口 登(同友)  
副委員長 伊藤信和(弁ク)  
委員 (同友) 茜ヶ久保公二  
(弁ク) 権正英樹 河部康弘

政策委員会

委員長 潮 太郎(弁ク)  
副委員長 中原文彦(同友)  
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保  
長内行雄 丸山英一  
山崎高明 横田香澄  
(弁ク) 濱田百合子 中川裕幸  
今堀克彦 奥川勝利  
高橋 堅 加藤和孝

【令和元年度】

幹事長 塩野谷英城(弁ク)

副幹事長 伊賀誠司(同友)  
(政策、役員協議、調整)  
瀧澤匡則(弁ク)  
(企画、研修)  
松本直子(同友)  
(総務)

企画委員会

委員長 笹川 拓(同友)  
副委員長 須藤 淳(弁ク)  
委員 (同友) 小島 猛 河合利恵  
(弁ク) 絹谷晴久 岩田耕一

幹事 (同友) 林 實 小林 保  
小川眞一 丸山英一  
高田大輔 吉田倫太郎  
(弁ク) 中川裕幸 小國泰弘  
今堀克彦 奥川勝利  
加藤和孝 潮 太郎

役員協議委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)  
副委員長 藤浪一郎(同友)  
委員 (同友) 高下雅弘 服部綾子  
(弁ク) 笠原 翔 厚木 薫

監事 永井義久(弁ク) 長内行雄(同友)

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)  
副委員長 中川裕幸(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一  
小池 晃 田辺敏郎  
古谷史旺 小林正治  
吉田芳春 小川眞一  
丸山英一 粕川敏夫  
石川 憲

研修委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)  
副委員長 谷口 登(同友)  
委員 (同友) 茜ヶ久保公二 駒場大視  
(弁ク) 関根武彦 美川公司

# 弁理士連合クラブ会則

(昭和62年9月29日創立総会、即日施行)

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 ・ 本会は、弁理士連合クラブと称する。

### (目 的)

第2条 ・ 本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

### (組 織)

第3条 ・ 本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

### (事務所)

第4条 ・ 本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

### (入退会)

第5条 ・ 本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

## 第2章 総 会

### (総 会)

第6条 ・ 総会は、定時総会と臨時総会とする。  
・ 定時総会は年2回2月、並びに8月、9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

### (権 限)

第7条 ・ 総会は、次の事項を審議する。  
1) 予算の議決及び決算の承認に関する事項  
2) 会則の制定、変更又は廃止に関する事項  
3) 役員、相談役及び顧問の選任に関する事項  
4) 日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項  
5) その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

### (召 集)

第8条 ・ 総会は、幹事長が召集する。  
・ 総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

### (議長及び議事)

第9条 ・ 総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。  
・ 議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

## 第3章 役 員

### (役 員)

第10条 ・ 本会に次の役員を置く。  
1) 幹事長1人  
2) 副幹事長若干人  
3) 幹事若干人  
4) 監事若干人  
幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。  
役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年1月1日から12月31日までとする。

### (幹事会)

第11条 ・ 幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。  
・ 会務の執行は、幹事会がこれを決する。  
・ 議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。  
第11条の2 ・ 幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

**(幹事長)**

- 第12条
- ・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
  - ・幹事長は、本会を代表する。
  - ・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。

**(報告等)**

- 第13条
- ・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

**(監 事)**

- 第14条
- ・監事は、本会の財務を監査する。

## 第4章 委員会

**(委員会)**

- 第15条
- ・本会に次の委員会を置く。
    - 1) 総務委員会
    - 2) 政策委員会
    - 3) 企画委員会
    - 4) 役員協議委員会
  - ・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

**(委員選任)**

- 第16条
- ・委員は、幹事会において選任する。
  - ・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
  - ・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

**(正副委員長)**

- 第17条
- ・委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
  - ・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。  
但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
  - ・委員長は委員会を代表する。
  - ・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。

**(委員会の会議)**

- 第18条
- ・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

**(委員会の職務)**

- 第19条
- ・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
    - 1) 総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
    - 2) 政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
    - 3) 企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
    - 4) 役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

## 第5章 相談役及び顧問

**(相談役及び顧問)**

- 第20条
- ・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
  - ・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
  - ・相談役は相談役会を構成する。
  - ・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
  - ・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。



## 第6章 会 計

### (会計年度)

第21条 ・ 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

### (特別会計)

第22条 ・ 日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

### (経 費)

第23条 ・ 本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

### (監査報告)

第24条 ・ 監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

## 第7章 規則の制定

### (規則の制定)

第25条 ・ 幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

## 第8章 会則等の改正

### (会則の改正)

第26条 ・ 本会則を改正するには、総会出席会員の3分の2以上の同意がなければならない。

### (規則の改正)

第27条 ・ 規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

## 附 則

1. この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
2. 昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
3. 昭和62年度の会計年度は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
4. この会則の一部改正は、平成5年5月17日から施行する。
5. 平成5年度の相談役の任期は、平成5年5月17日から翌年3月31日までとする。
6. この会則の一部改正は、平成11年5月21日から施行する。
7. この会則の一部改正は、平成13年1月25日から施行する。
8. この会則の一部改正は、平成15年8月8日から施行する。
9. ①この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年9月22日から施行し、第6条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年1月1日から施行する。  
②平成16年度の会計年度は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。  
③平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
10. この会則の一部改正は、平成19年2月27日から施行する。
11. この会則の一部改正は、令和2年9月2日から施行する。

# 弁理士連合クラブ慶弔規則

## 第1条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

## 第2条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(i)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ii)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

## 第3条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(i)会員

(ii)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(i)本クラブ幹事長又はその経験者

(ii)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上の経験者

(iii)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

## 第4条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上経験した者

## 第5条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

## 第6条(特 則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めたときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

## 付 則

この規則は平成元年1月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

# 「特別寄付金」を求めるときの 運用基準

## (目 的)

第1条 この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

## (対象者)

第2条 特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

## (基 準)

第3条 特別寄付金の基準は以下のとおりとする。

1. 日本弁理士会会長又は同経験者……………年 6 口
2. 同 副会長又は同経験者……………年 2 口
3. 同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者……………年 4 口
4. 同副監事長又は副議長若しくは同経験者……………年 1 口
5. 本会の幹事長又は同経験者……………年 3 口
6. 同 副幹事長又は同経験者……………年 1 口

1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

## (適用順位)

第4条 対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

## (求めの方法及び時期)

第5条 特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第6条 この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。

- 《注》・平成12年度第7回幹事会（平成12年12月21日開催）で決議  
・平成12年度第2回総会（平成13年 1 月25日開催）にて報告  
・平成12年度第8回幹事会（平成13年 3 月29日開催）で、第 6 条の追加を決議

## 編集後記

本年度も、多くの先生方にご執筆いただき、機関誌『連合』No.31を発行することができました。このコロナ禍の中、例年同様無事に機関誌を発行することができ安堵しております。お忙しいところ、ご寄稿いただきました先生方には深く感謝申し上げます。特に、日本弁理士会会長の清水善廣先生、日本弁理士クラブ幹事長の羽鳥亘先生、西日本弁理士クラブ幹事長の上羽秀敏先生には、お忙しい中、機関誌『連合』への「ご挨拶」の執筆を賜り、深く御礼申し上げます。

企画委員会では、本機関誌の発行に加えて、例年は親睦旅行会の準備・運営を行っています。ところが、本年度は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、残念ながら親睦旅行会は中止となってしまいました。機関誌の表紙には、旅行会の写真を使うことが多いようですが、今回はいつもとは異なる様相の写真を使わざるを得ませんでした。しかし、本年度の世相を反映した記憶に残る表紙になっているのではないかと思います。

この機関誌の発行作業を通じ、様々な場面で他の人との協力ということを実感させていただくことができました。このコロナ禍の中、人との関わりが減ったり希薄になったりしがちな中で、貴重な経験をさせていただき感謝しております。

最後になりましたが、幹事長の吉村俊一先生、担当副幹事長の笹川拓先生、企画委員長の小越一輝先生、企画委員会の皆様（須藤淳先生、岩田耕一先生、松本直子先生）には、本機関誌発行にあたり多大なるご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（企画副委員長 小島 猛）

弁理士連合クラブ会報  
**連 合**

No.31

令和3年2月1日

発行 弁理士連合クラブ  
編集 弁理士連合クラブ企画委員会  
制作 (株)文寿堂  
Tel.03 (3948) 6631

弁理士連合クラブ